



事業計画及び 成長可能性に関する事項

LIGHTWORKS

2024年4月

01	事業概要	03
	－ 事業の内容	
	－ 事業の収益構造	
02	市場環境	39
	－ 市場規模	
	－ 競合環境	
03	競争力の源泉	45
04	事業計画	48
	－ 成長戦略	
	－ 経営指標	
05	中期経営計画	66
06	リスク情報	74

01 事業概要

MISSION
ミッション

ミライの「はたらく」を、明るくする

VISION
ビジョン

不確実性が増す現代社会に必要な
人材開発プラットフォームを提供する

- ✓ 2001年創業
- ✓ 人材開発のソリューションをクラウドサービスで提供
 - 人材開発（能力開発、スキル管理、キャリア管理etc.）をインターネットを活用して行う際に求められるプラットフォーム（IT基盤）とコンテンツ（教材）を提供します。

ライトワークスグループ



顧客	国内大手・中堅企業人事部
サービス	クラウドによるHCMプラットフォーム提供サービス
主な競合	米国系HCMシステム会社など
事業モデル	大企業のオペレーションに最適なHCMプラットフォームの提供。プラットフォーム上での各種サービスの提供。



ライトエデュケーション

(株)ライトワークス 93.72%
(株)Gakken 6.28%

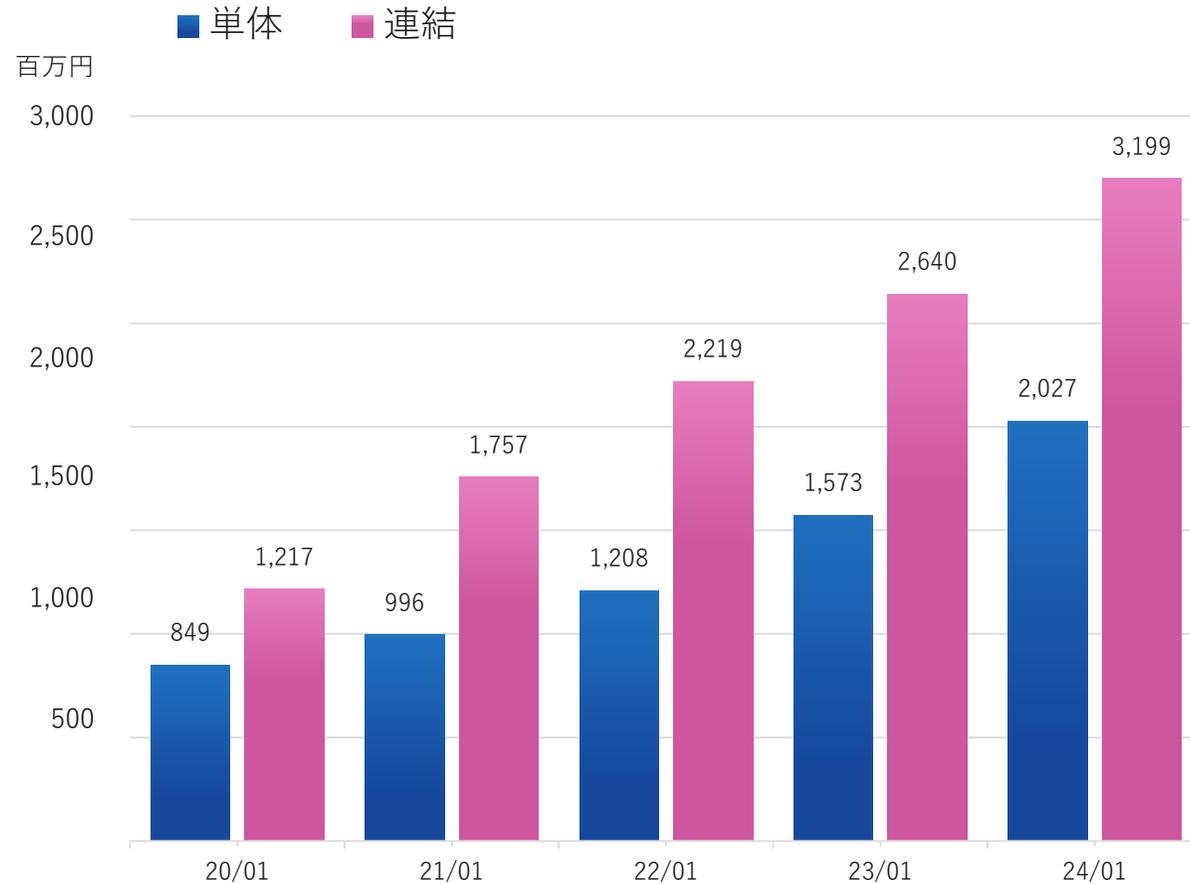
顧客	教育関連企業、学校、学習塾および一般消費者
サービス	クラウドによるHCMプラットフォーム提供サービス、オンライン英語会話
主な競合	オンライン英会話提供企業
事業モデル	教育事業者にHCMプラットフォームを提供。オンライン英語会話を全国の学習塾、学校に提供。



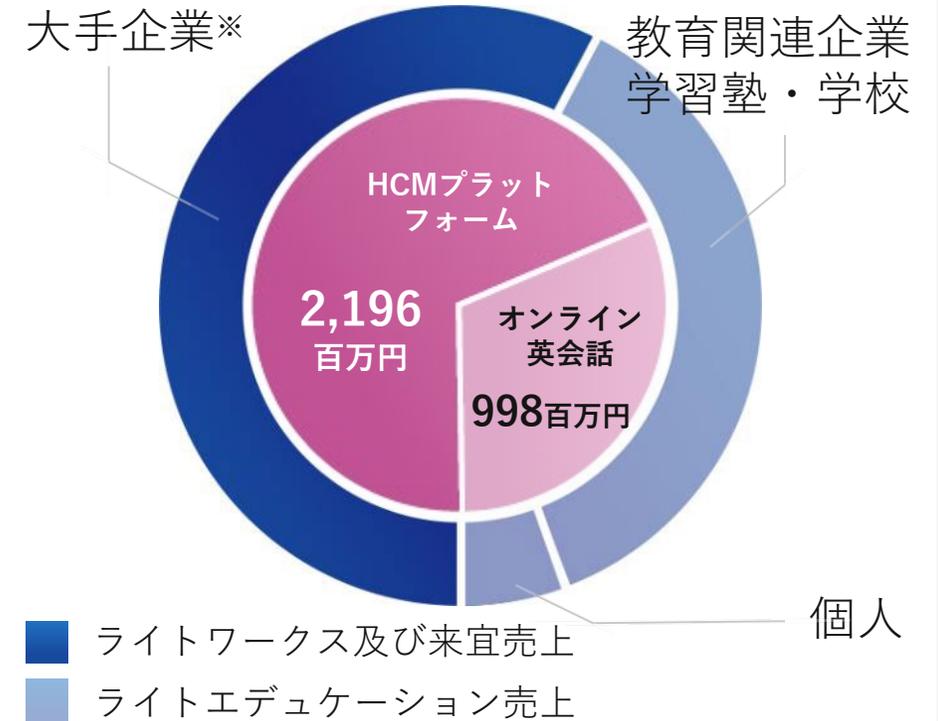
来宜信息科技有限公司（上海）有限公司 (株)ライトワークス 100%

顧客	中国およびアジアの日系企業人事部
サービス	ライトワークスと同じ eラーニングのオフショア開発
主な競合	現地システム会社など
事業モデル	日系企業の現地スタッフの教育。eラーニングのオフショア開発。

ライトワークスの売上高推移

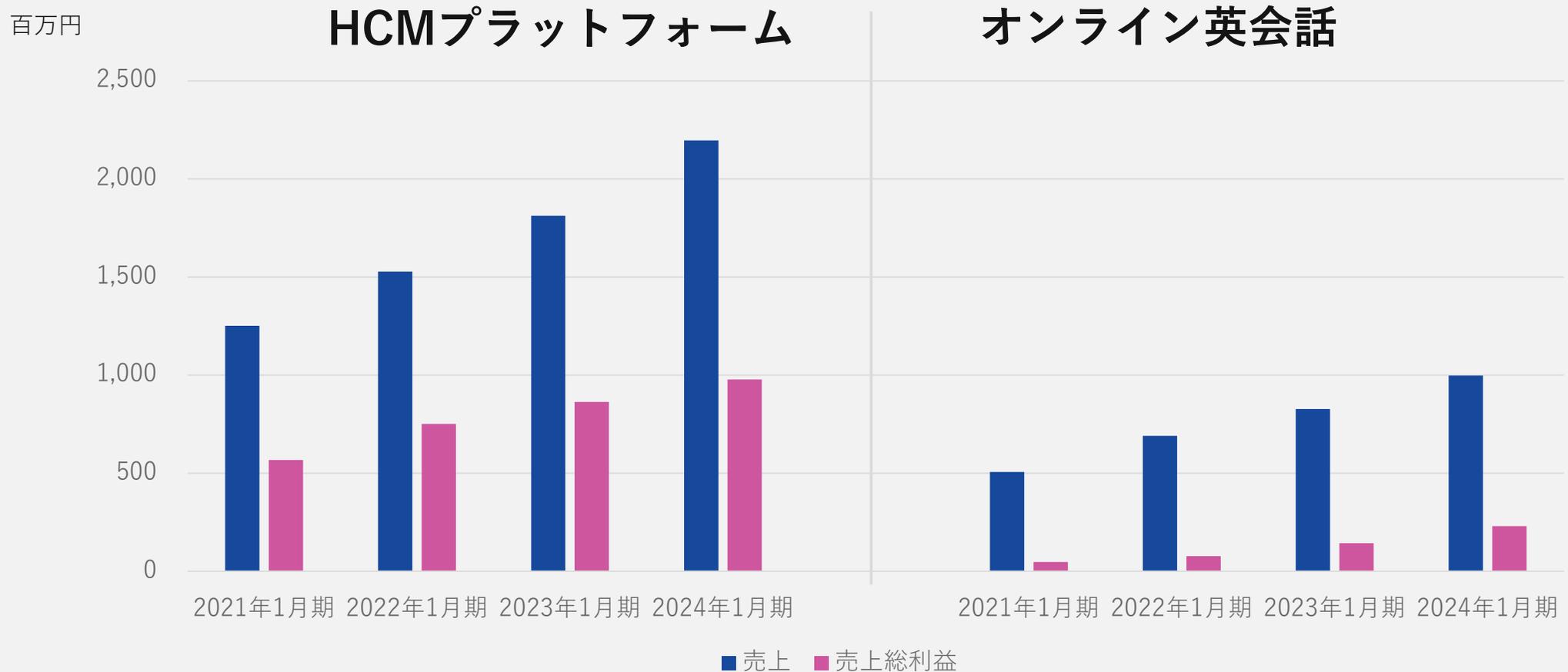


売上構成：3,199百万円(24年1月期)



※：半数以上が売上高1000億円以上の企業

ライトワークスの事業別売上総利益



ライトワークスの事業セグメント

✓ 当社はHCMクラウド事業の単一セグメントです。

個人の能力・パフォーマンス向上を目的とする諸施策（教育、訓練、OJT、資格取得、etc.）をインターネットを活用して行うことによって個人と組織の戦略的目標の達成を目指すことをHCM（Human Capital Management）クラウドサービスと当社は呼んでいます。

✓ HCMクラウド事業は2つのサービスから構成されています。



人材開発のプラットフォームを提供する『**HCMプラットフォーム提供サービス**』



同プラットフォーム上で展開する『**HCMプラットフォームを活用したオンライン英会話サービス**』

HCMクラウドサービスによって実現すること

- ✔ **階層別教育、コンプライアンス対策、OJT**など企業の人材開発戦略に応じた社内外のコンテンツ（教材）を**プラットフォーム上で統合的に展開**できます。
- ✔ 従業員の能力開発が「いつでも、どこでも、自由に」行えるようになります。
- ✔ 企業側は**人材開発のプログラムを戦略的に設計**することにより、従業員ひとり一人に**マッチした能力開発**が実行できるようになります。
- ✔ スキル管理、キャリア管理の機能と組み合わせることで、**企業が従業員のスキルとキャリアをライフサイクルで管理**できるようになります。
- ✔ **人材開発業務のオペレーションを外部委託（BPO※）可能**となり人事部のスリム化が実現します。

※：Business Process Outsourcing; 企業運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託することを指します。

HCMクラウドサービスの概要

企業向け人材開発プラットフォーム

CAREERSHIP®をベースにした、ヒトに関するソリューションをクラウドで提供し、**教育のDXを支援**しています。

CAREERSHIP®主要機能別利用状況

eラーニング	99%
コース管理	79%
アンケート配信	77%
集合研修管理	67%
キャリア管理	53%
スキル管理	44%
社内SNS	40% (2024年1月時点)

CAREERSHIP®機能



CAREERSHIP® eラーニング機能

- ✓ 企業の人材開発で求められる様々な要件を満たしつつ、受講者の使いやすさと管理者に求められる機能を備えているため、**対面研修の置き換え**や**教育のDX化推進**が可能です。

ポイント

- ✓ **受講者の使いやすさを追求**
 - 多様な端末（ブラウザ）で実施可能
 - 1クリックで受講できる機能
- ✓ **管理者の運用を効率化/自動化できる機能**
 - 多様な仕様の教材を5分で作成できる機能
 - 多様なユーザ属性別に公開できる機能
 - 案内やリマインドを自動化できる機能
 - 2クリックで進捗状況を確認できる機能
 - 導入研修や全社研修を全自動化できる機能
 - 教材毎のIPアドレス制限 など

CAREERSHIP® eラーニング機能（画面）

ホーム	アクティビティ	カスタマイズ	スキル管理	ルーム	キャリアカルテ
<p>若手層向けビジネススキルアンケート</p> <p>実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>コンプライアンススキルアンケート</p> <p>実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>中間層向けビジネススキルアンケート</p> <p>実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>LW基礎知識（初級）</p> <p>76% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>LW基礎知識（中級）</p> <p>33% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	
<p>必須</p> <p>LW競合対策強化コース</p> <p>25% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>LW導入支援強化コース</p> <p>43% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>経営戦略コース・応用</p> <p>50% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>クリティカルシンキング学習コース</p> <p>0% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	<p>必須</p> <p>ビジネススキルアセスメントコース（若年層向け）</p> <p>67% 実施中 ▶ 実施 ▼</p> 	

CAREERSHIP® 集合研修管理機能

- ✓ 煩雑な集合研修管理業務の工数を軽減し、各部門で個別で管理されていた**受講履歴を一元化**します。
- ✓ オンライン**研修の**運用にも活用可能で、参加者の確定や出席を**自動管理**します。

ポイント

- ✓ **管理者の研修管理業務を効率化**
 - 研修計画の一括登録・案内・申込の効率化
 - 申請時質問で宿泊/弁当手配、審査業務を効率化
 - 研修案内/リマインド等の自動メール配信
 - 自動出席登録、キャンセル待ち等の便利機能
- ✓ **タレントマネジメントのための履歴一元管理**
 - 各社/各部門で散らばる受講履歴の一元化
 - 一元管理による業務アサイン、昇進/昇格要件管理、全社的なタレントマネジメントの促進
- ✓ **対面研修の一元管理**
 - コロナ禍で増えたWEB会議システムを活用したオンライン研修にも対応

CAREERSHIP® 集合研修管理機能（画面）

The screenshot shows the CAREERSHIP web application interface. A modal window titled 'プロパティ' (Properties) is open, displaying details for a training session 'sec012 情報セキュリティ研修 (12月度)'. The interface includes a sidebar with navigation options like 'ホーム', 'アクテ', 'カテゴリ一覧', and '研修'. The main content area shows a list of training sessions with status indicators like '実施中' (In Progress) and '完了' (Completed).

情報セキュリティ研修 (12月度)	
種別	集合研修
カテゴリー	
完全カテゴリー	
トップカテゴリー	
コード	sec012
タイトル	情報セキュリティ研修 (12月度)
重要度	必須
配布資料	
研修開始日時	2021年12月15日 10:00
研修終了日時	2021年12月15日 18:00
会場	
定員	制限なし
キャンセル待ち設定	なし
申請者数	23
キャンセル待数	0
メモ	
概要	ビジネスパーソンとして知っておくべきコンピュータに関する情報セキュリティの基本的な知識と、具体的な対策法について学習します。
内容	1章ビジネスと情報セキュリティ 2章電子メールとセキュリティ 3章インターネットの利用とセキュリティ 4章パソコンの管理 5章記憶媒体の管理
注意事項	
空席数	あり
申請開始日	指定なし
申請終了日	指定なし
地図	地図を表示
主催者	
講師	末斗一郎
講師プロフィール	(株)ライトワークス アドバイザー、経営コンサルタント
持ち物	筆記用具
対象者	全社員
費用	
研修期間重複申請制限	除外
最少催行人数	指定なし
催行判断日	指定なし
申請フロー	本人、一次、二次

CAREERSHIP® アンケート・レポート機能

- ✓ 研修の事前事後などでアンケートやレポートを提出する運用を**効率化/一元化**します。フォーマットのカスタマイズや、様々な運用に適した設定が可能のため、メールや紙でのやりとりといった時間を要する業務から解放されます。

ポイント

- ✓ **管理者の研修運営業務を効率化**
 - アンケート回答の管理
 - 案内/未提出者へのリマインドの自動メール配信
 - 回答結果の自動集計と一括ダウンロード
- ✓ **フォーマットの柔軟性**
 - 択一式/複数選択式/プルダウン式/自動記述/ファイル添付など出題形式の選択可能
 - 回答権の移動有無/回答履歴の表示有無/画面あたり出題数/表形式の設定の有無などフォーマットを自由にカスタマイズ可能
 - 回答結果を上長等に回覧する申請フロー設定

CAREERSHIP® アンケート・レポート機能（画面）

受講者

CAREERSHIP

研修実施後アンケート 実施中 - 点

参加状況（第1問目 / 全7問） 必須

今年度にあなたが参加した研修を全て教えてください。

- 「ビジネス入門」コース
- 「経営戦略」コース
- 「マーケティング」コース
- 「アカウンティング」コース
- 「ファイナンス」コース
- 「リーダーシップ」コース

総評（第2問目 / 全7問） 必須

今年度にあなたが受講した研修は、総じて有益でしたか？

- 大変有益だった
- 有益だった
- どちらともいえない
- あまり有益ではなかった
- 有益ではなかった
- その他

管理者

アンケート/レポート管理 > 進捗管理 > フォーム > 集計

[エクスポート](#)

質問1(Q0008720) **参加状況**(複数選択)

選択肢	人数(単位:人)	割合(単位:%)
「ビジネス入門」コース	3	100.0
「経営戦略」コース	3	100.0
「マーケティング」コース	0	0.0
「アカウンティング」コース	0	0.0
「ファイナンス」コース	0	0.0
「リーダーシップ」コース	0	0.0

質問2(Q0008719) **総評**(ラジオボタン択一)

選択肢	人数(単位:人)	割合(単位:%)
大変有益だった	2	50.0
有益だった	1	25.0
どちらともいえない	0	0.0
あまり有益ではなかった	0	0.0
有益ではなかった	0	0.0
その他	1	25.0

質問3(Q0008721) **研修期間**(プルダウン択一)

選択肢	人数(単位:人)	割合(単位:%)
長すぎた	0	0.0
やや長かった	2	66.7
ちょうどよかった	1	33.3
やや短かった	0	0.0
短すぎた	0	0.0

CAREERSHIP® コース管理（大規模学習管理）

- ✔ **ブレンディッド・ラーニング**※の運用や、直列型/並列型の教育コースが運用可能です。受講者は受講の流れを把握し、管理者はどこまで学習が進んだか**コース全体の管理**が可能になります。

※：集合研修とeラーニングなど複数の手法を掛け合わせて実施する学習手法のこと

ポイント

- ✔ **ブレンディッドラーニングの運用**
 - eラーニング、オンライン研修、対面研修、グループワーク、アンケート、レポートを自在に組み合わせた学習コースが設定可能
- ✔ **直列/並列型コース運用**
 - 直列型コースはフェーズ毎に必須or任意などの条件設定が可能
 - 並列型コースは複数のオプションから任意の条件設定が可能（5つの教材を公開し、3つ終了したらコース完了etc.）

CAREERSHIP® コース管理機能（画面）

The screenshot displays the CAREERSHIP course management interface. At the top, the user is identified as 合田 健太. The navigation menu includes Home, Activities, Customization, Skill Management, Rooms, and Career Path. The current course is '経営戦略コース・応用' (Management Strategy Course - Application), which is in progress with a 50% completion rate. The course structure on the left lists four phases: 1. 事前学習 (Pre-study), 2. 集合研修 (Group training), 3. 研修実施前アンケート (Pre-training survey), and 4. 研修実施後アンケート・課題 (Post-training survey/assignment). A legend explains the status icons: a red lock for '前提条件を満たしていません' (Prerequisites not met), a grey lock for '前提条件を満たしています' (Prerequisites met), a magnifying glass for '前提条件となっています' (Prerequisite), and a crossed-out circle for 'コースの進捗に寄与しません' (Does not contribute to course progress). The main content area shows a flow diagram where '事前学習' (12.2% completed) leads to '集合研修' (0% completed), which leads to '研修実施前アンケート' (0% completed). A red lock icon is positioned between the first and second steps, indicating that the second step is currently inaccessible.

CAREERSHIP® スキル管理機能

- ✓ 今後の人材開発では、管理者視点ではなく**従業員一人ひとりのキャリアや能力に応じた学習支援**が求められます。スキル管理機能を使えば、従業員一人ひとりの成長の道筋をデザインすることが可能になります。**自律学習と評価を連動**させたり、**スキルをデータベース化**することができます。

ポイント

- ✓ **スキルの可視化**
 - 全社的なスキル体系をマッピング表示して可視化
 - 各従業員のスキルをステップ表示
- ✓ **学習と評価の連動**
 - 学習の有無だけでなく強みと弱みを把握することで効果的な学習が可能に
- ✓ **タレントマネジメント強化**
 - スキル管理を運用することでスキルのデータベースが蓄積され、タレントマネジメントに活用することができます

CAREERSHIP® スキル管理機能（画面1）

ステップ表示



マップ表示



CAREERSHIP® スキル管理機能（画面2）

四谷 ひかり

ホーム アクティビティ カスタマイズ **スキル管理** ルーム キャリアカルテ 全メニュー

lwsales001 LW営業オンボーディング

印刷

状態 実施中 自己評価期間 学習進捗状況 16/29
 評価進捗状況 0/58 総合評価状況 評価フロー 本人, 一次
 スキル総合点 0/232点

S : 完璧/素晴らしい (人に教えられるレベル)
A : 自信あり (一人でできるレベル)
B : ふつう (ほぼ一人でできるレベル)
C : まだまだ自信なし (教わりながらできるレベル)
D : 自信なし (教わっていない)

大分類	分類	スキル項目名	配布資料	アイテム	前々回履歴	前回履歴	基準	自己評価	上長評価	備考
初級	ビジネス...	心身の健康/体力		実施中			A	-	-	
初級	ビジネス...	ビジネスマナー					A	S	-	
初級	ビジネス...	ビジネス文書(メール等)					A	S	-	
初級	ビジネス...	論理的/批判的思考					A	-	-	
初級	ビジネス...	コミュニケーション力					A	-	-	

CAREERSHIP® キャリアカルテ機能

- ✓ 人材を活用/育成するために人材データを可視化することで、従業員の状況を把握し、的確なOJTやフィードバックを行うことが可能になります。**受講履歴の一元化、学習成果の可視化**もキャリアカルテで実現できます。

ポイント

- ✓ **自由に定義可能な人材データベース**
 - 職歴、業務経験、資格、保有スキル、受講履歴などのデータベースを作成し、データを一元化/可視化します
- ✓ **教育履歴の一元化**
 - 教育履歴はCAREERSHIP®が自動的に登録するので一元管理できます
- ✓ **学習履歴の可視化**
 - 社内資格制度、派遣スタッフの教育訓練など学習成果を可視化して運用できます

CAREERSHIP® キャリアカルテ機能（画面）

CAREERSHIP 四谷 ひかり

ホーム アクティビティ カスタマイズ スキル管理 ルーム キャリアカルテ 全メニュー

四谷 ひかり

ユーザーID	yotsuya	ユーザー名	四谷 ひかり	かな/カナ	かな/カナ
メールアドレス	mlw-bs_bd@lightworks.co.jp	入社年月日		ログイン期限	
ロールコード	student	ロール名	student	組織コード	L003
組織名	ビジネス開発チーム	組織略称		組織説明	
スキルアソートコード	MAP_0002	スキルアソート名	営業/業務用・チャンネル_ベーシック	スキルアソート略名	
上長ID	yshib	上長名	ライトワークス	ログイン回数	13966
最終ログイン日時	2024年04月16日 19:07	最終パスワード変更日時		備考	

学歴・職歴

件数 4 初回記入日 2020年08月21日 最終記入日 2020年08月21日

年月	学歴・職歴
2017/04	株式会社ABC 入社
2017/03	ABC大学 AA学部 BB学科 卒業
2013/04	ABC大学 AA学部 BB学科 入学
2013/03	ABC高校卒業

▶ すべて見る

業務経歴

件数 1 初回記入日 2020年08月21日 最終記入日 2020年08月21日

区分	業務名	開始年月	終了年月	担当時の立場

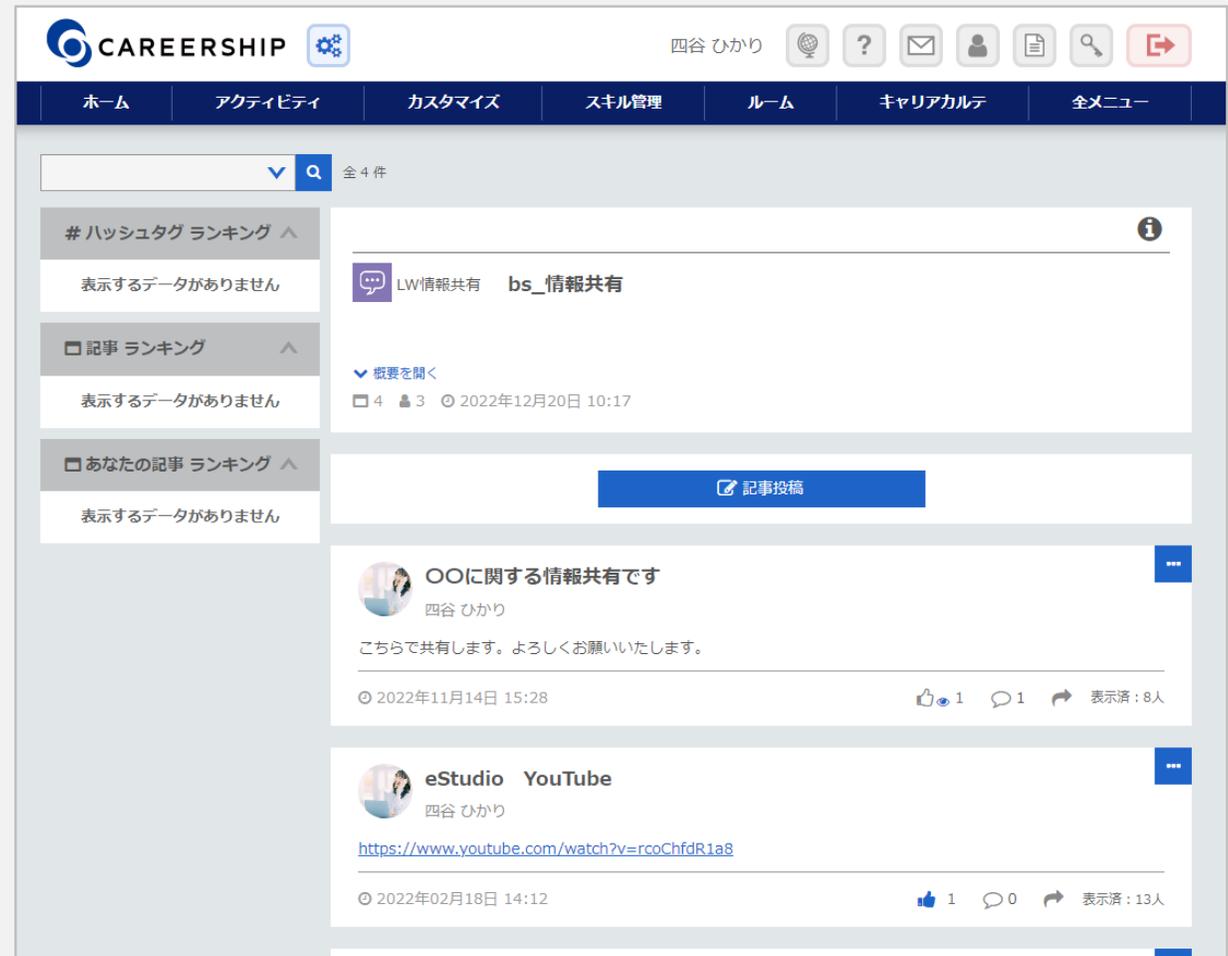
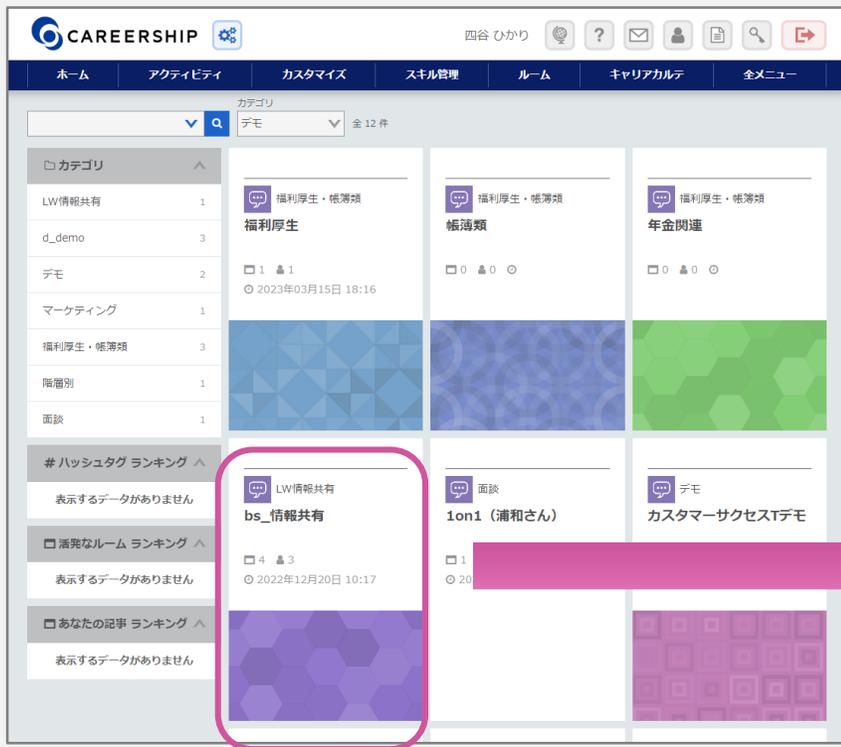
CAREERSHIP® ルーム機能

- ✓ **創造的な組織構築**のためにはトップダウンの教育だけでなく、ユーザー間で情報のシェアを強化し**ナレッジを蓄積**することが望まれています。社内SNSのルームを活用すれば特定のユーザー同士で**学習し合う文化を醸成**できます。

ポイント

- ✓ **特定のメンバー間での情報共有**
 - 内定者、新入社員、営業など特定のメンバー間でコメント、ファイル（文書、動画）の共有が可能です
- ✓ **ランキング表示でソーシャル学習**
 - ランキング表示によって、例えば評価の高い営業のロールプレイ動画がより多く共有される仕掛け作りなどが可能です

CAREERSHIP® ルーム機能（画面）



CAREERSHIP® 教材作成支援機能 「eStudio」

- ✓ CAREERSHIP®の教材作成支援機能であるeStudioを利用すれば、**お手持ちの教材を簡単にeラーニング教材に変換**することができます。登録した教材や素材、設問データはオンライン上でデータベース化され、チームで共同作成したり、教材の差替えを行ったり、教材管理業務の引継ぎを簡単に行うことが可能です。

素材

顧客保有の
教育資料

PPT



EXCEL



WORD



PDF



動画



外部リンク

ツール

3分で
eラーニング教材
化可能

WEB上で作成

eStudio

成果物

マルチデバイス
対応の様々な仕
様のeラーニン
グ教材が完成

CAREERSHIP®の導入実績

国内顧客約340社のうち約50%が売上1,000億円以上の大企業です。

TOYOTA

 三菱商事

 SoftBank

Asahi

 日本郵政

AEON

よろこびがつなく世界へ
 KIRIN

 JA共済

 セブンイレブン

 MITSUBISHI
ELECTRIC
Changes for the Better

DNP
大日本印刷

JR
JR東海

LINEヤフー

 日鉄物産

 sojitz

大和証券
Daiwa Securities

 ORIX

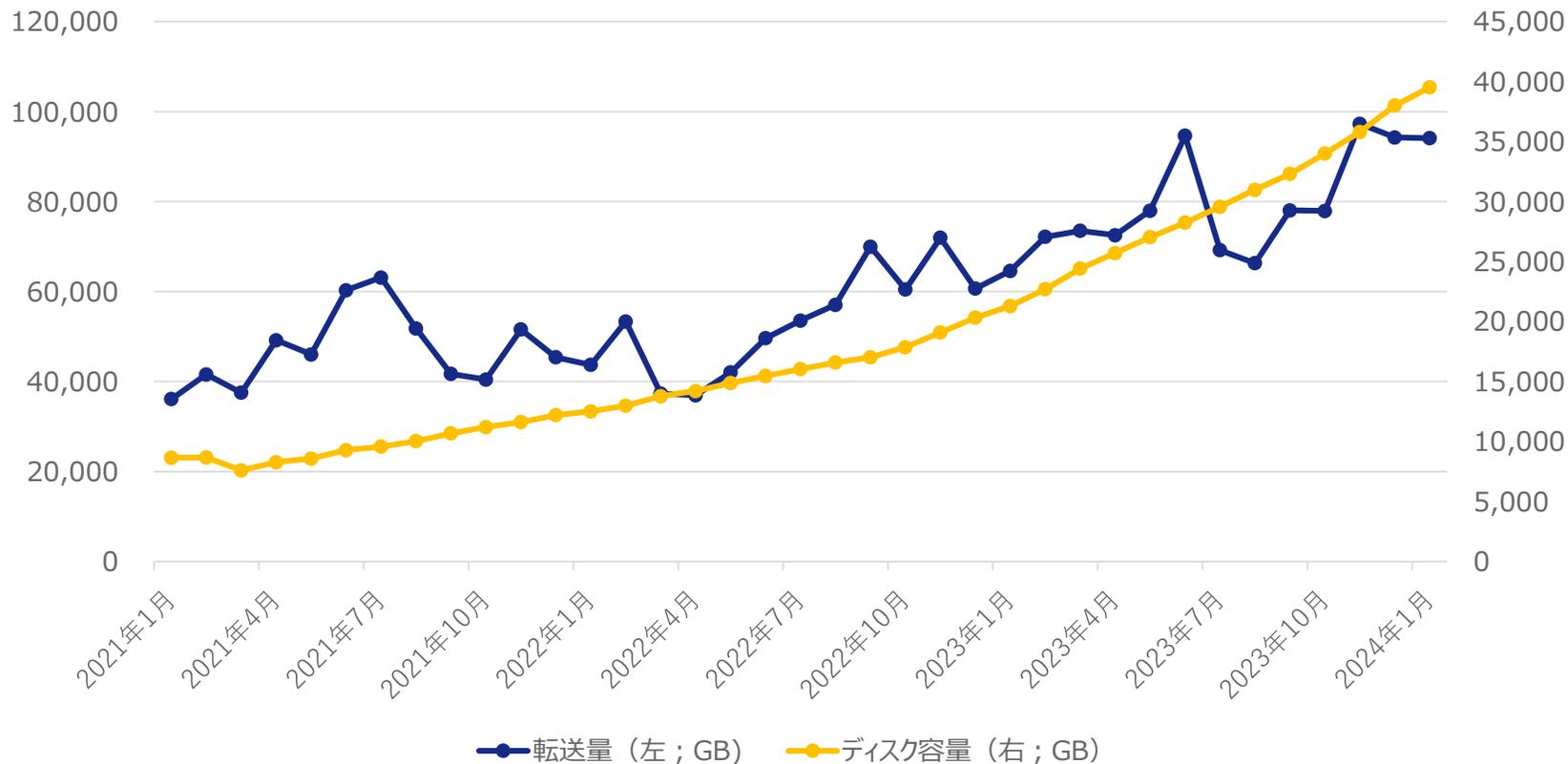
JTB
感動のそばに、いつも。

CAREERSHIP®の利用者数

2024年1月期も引き続き利用者は増加、2023年1月末比で約96.5万ID増加。



教育動画の利用状況



当社顧客の教材での動画利用が大幅に増加しています。

2023年1月と比較して、この1年で

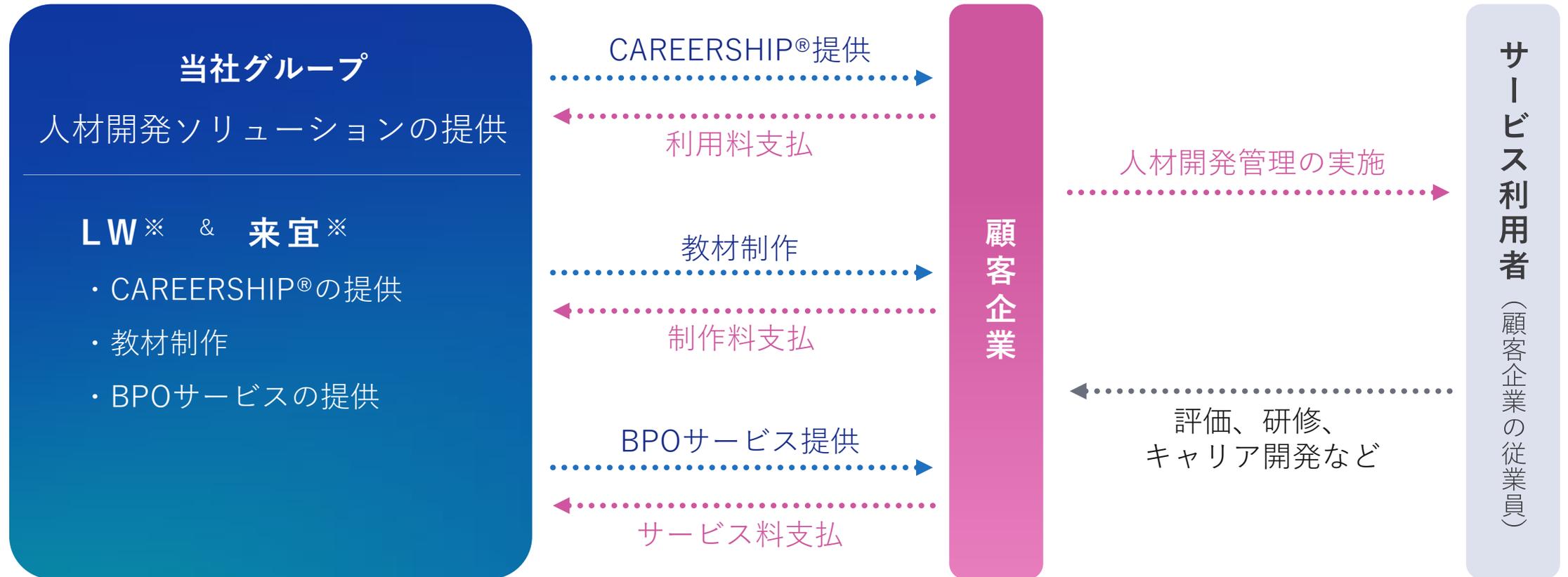
動画の通信量

1.5倍!

動画データ保存容量

1.4倍!

HCMクラウドサービスのビジネスモデル



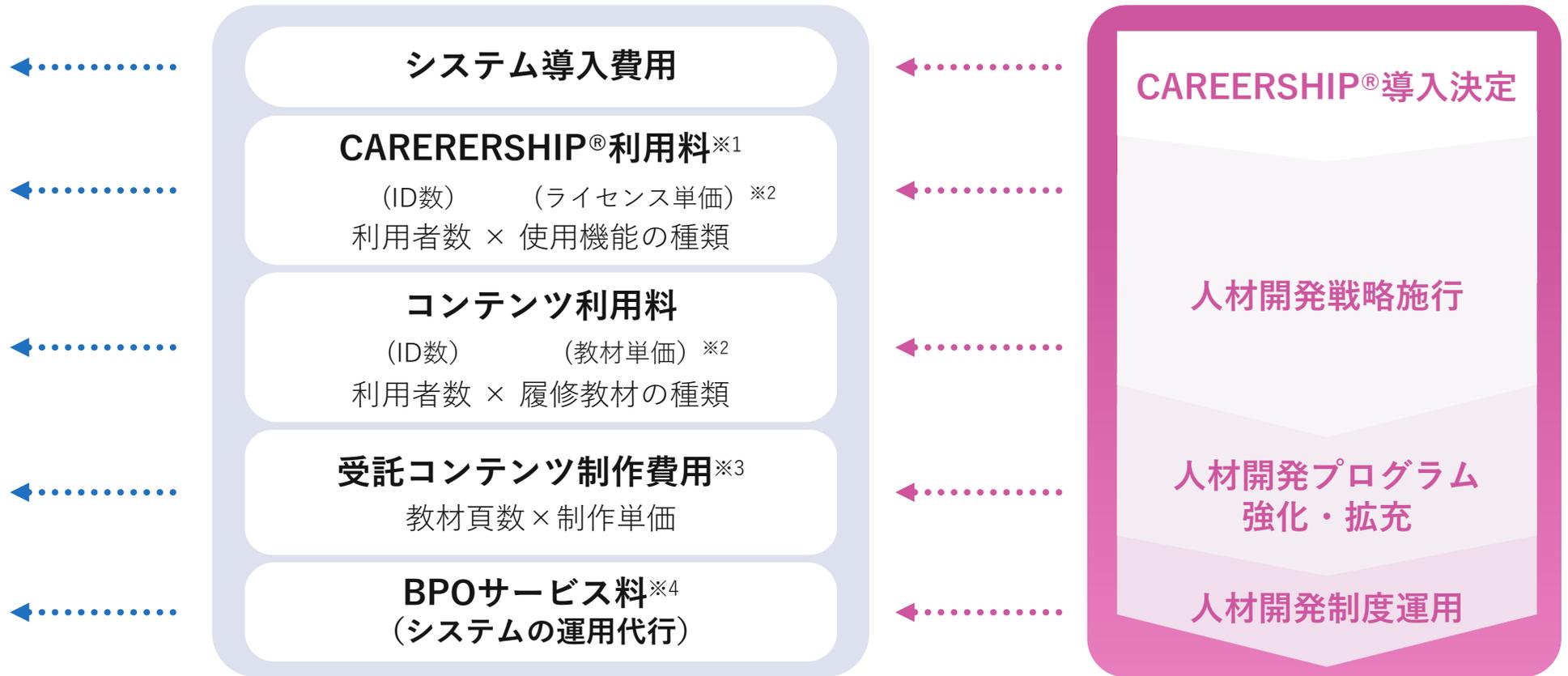
※LW：ライトワークス、来宜：来宜信息科技有限公司（上海）有限公司

HCMクラウドサービスの収益構造

当社

顧客企業

売上高



※1：収益の中心となっています。※2：使用機能・教材に応じて利用料(人/年)が異なります。※3：顧客の教材の制作を請け負います。※4：次スライドで説明します。

CAREERSHIP®のBPOサービス

- ✔ CAREERSHIP®を活用した人材開発施策のオペレーション業務をBPO専任チームが請け負います。

ヘルプデスク

ユーザー登録

組織登録

教材登録

受講案内
リマインドメール

- ✔ 顧客企業の人材開発担当者はオペレーション業務から解放され、コア業務に集中することが可能になります。

オンライン英会話サービス

- ✔ HCMクラウドサービスで確立したプラットフォームの**優れた受講管理機能を活用**し、全国の中学校・高等学校、学習塾の生徒に対して**オンライン英会話サービスを提供**しています。
- ✔ **登録管理、成績管理、保護者とのコミュニケーション**など学校や学習塾に固有のオペレーションを**プラットフォーム上で実行**します。
- ✔ 学校、学習塾の稼働時間帯が午後から夕方に集中するため、空いた時間の講師の稼働率を上げるために、**家族向けのオンライン英会話サービスを一般家庭にも提供**しています。

HCMクラウドを活用したオンライン英会話サービス

HCMクラウドの優れた管理機能を活かして、学習塾でのオンライン英会話を提供しています。

フィリピン国内の講師センター



日本向け講師センターが乱立し、オフピーク対策が必要



複数のセンターの講師を当社システムでアサイン



オンライン英会話サービス



ホンキの英語力 **OLECO**

(学習塾向け)



複数の学校・学習塾の生徒を当社システムで管理

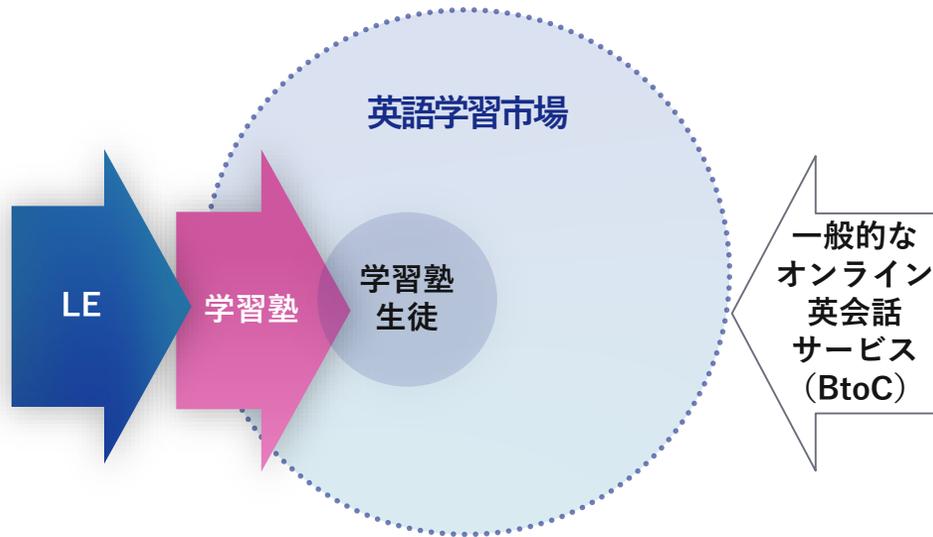


全国の学習塾



質の高いオペレーションを提供できる事業者の確保

オンライン英会話事業の特徴

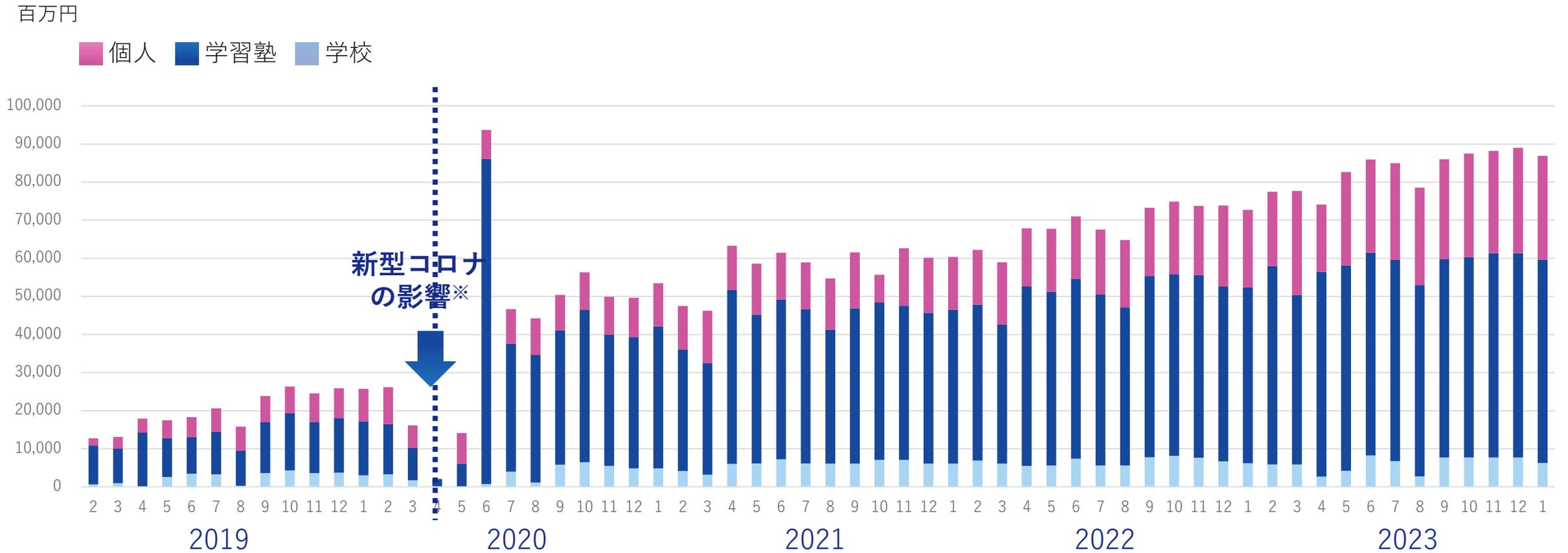


学校や学習塾を經由して塾生徒にオンライン英会話を提供するという**独自のBtoBtoC**セグメントで事業を展開しています。

- ✔ LE※はオンライン英会話に必要なシステム（受講管理、講師管理など）および講師（複数の講師センターと契約）を用意、**教育事業者へオンライン英会話をOEM提供**します。
- ✔ **各教育事業者が**教材を用意したうえで**自ら営業**を行います。
- ✔ 児童・生徒に特化した**指導ノウハウの蓄積** ➡ **BtoC向けオンライン英会話を家族向けにして提供**しています。

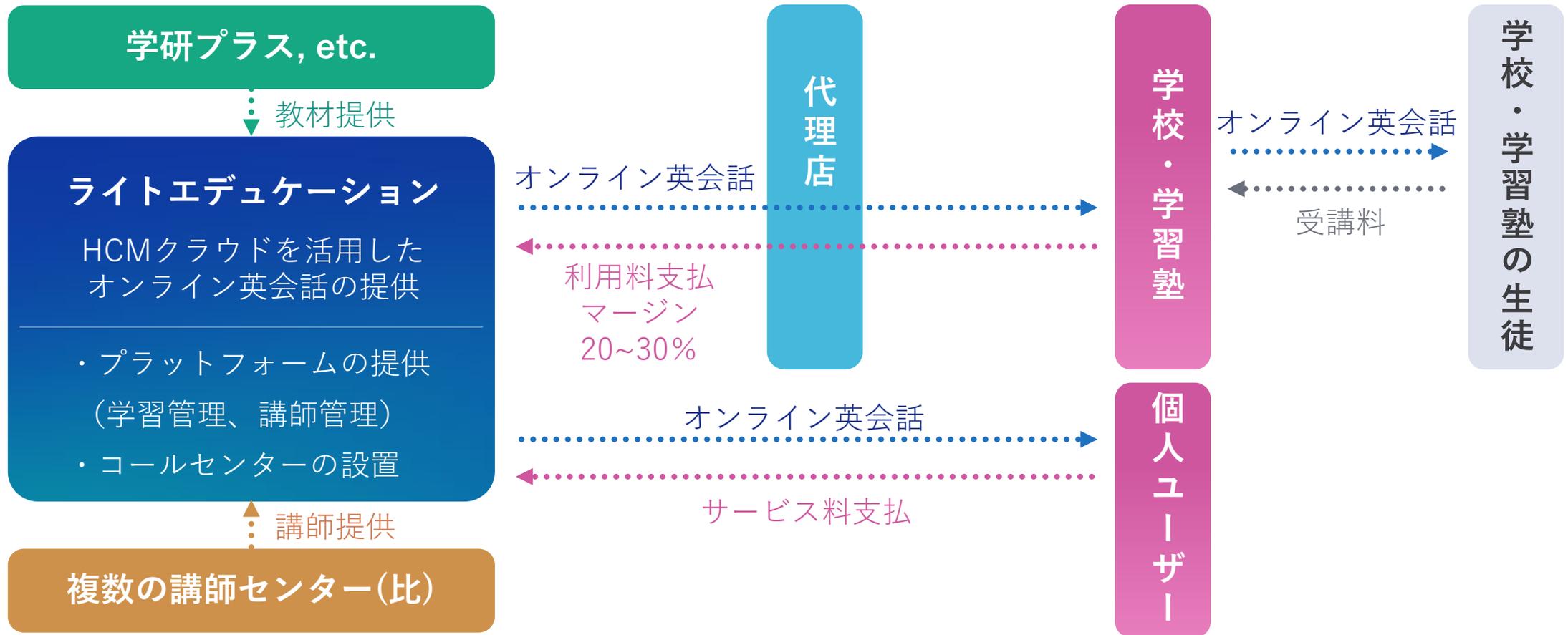
※LE：ライトエデュケーション

オンライン英会話サービスの月度別売上推移

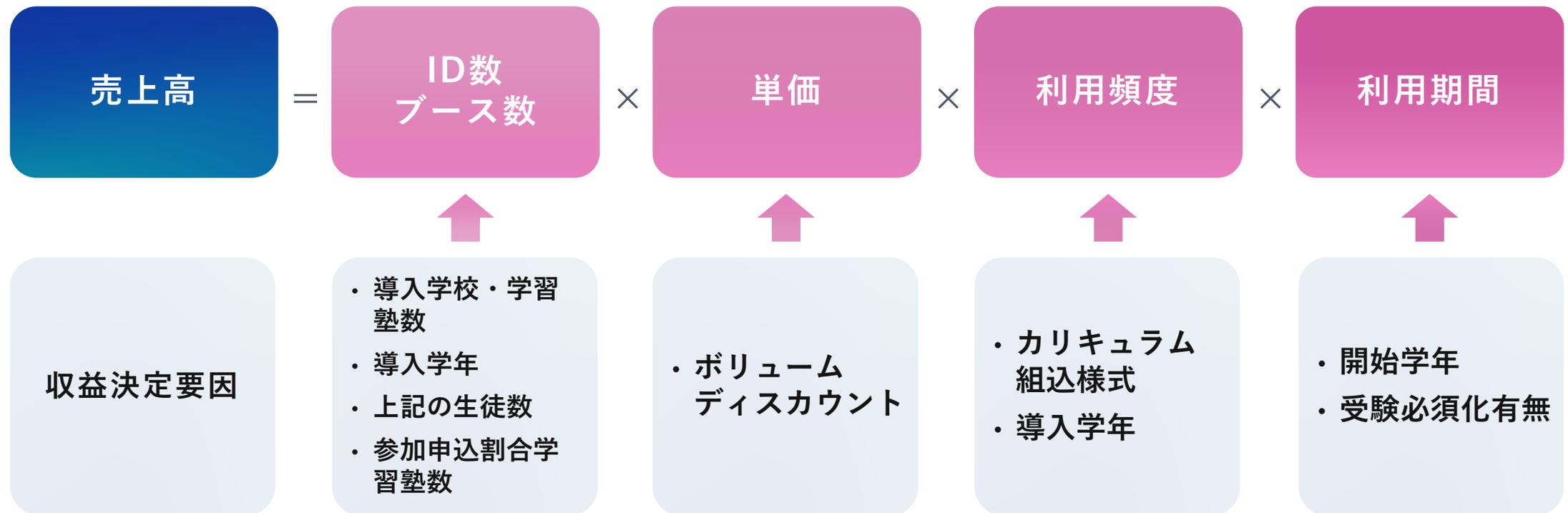


※：4～5月は緊急事態宣言により学校及び学習塾が一斉休校になったため減収。6月の増収は授業再開による。

オンライン英会話サービスのビジネスモデル



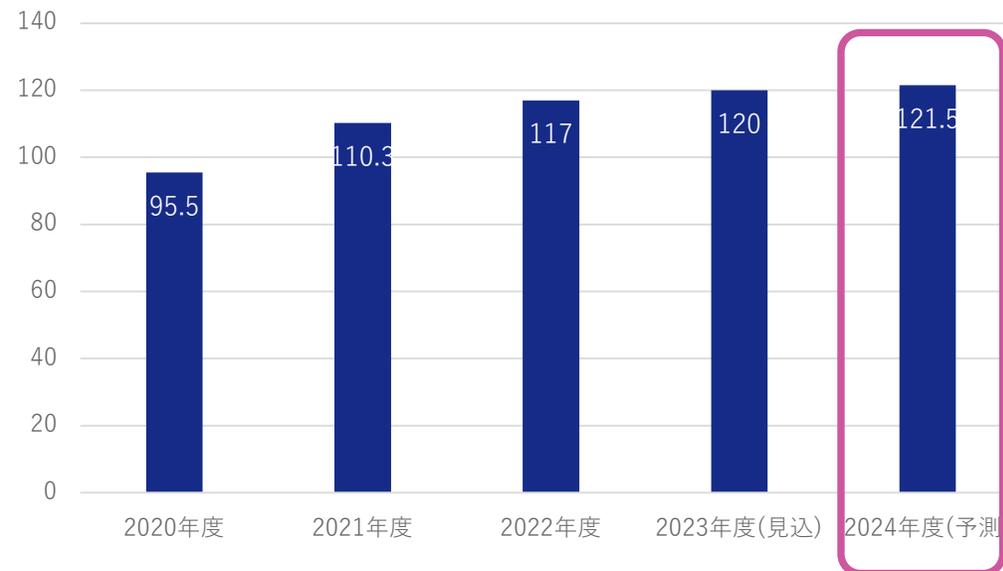
オンライン英会話サービスの収益構造



02 市場環境

HCMクラウドサービスの市場規模

- 当社のサービスに最も関連性の高い**LMS**※1 (Learning Management System) の2024年度の国内市場規模は**121.5億円**※2と予測されております。

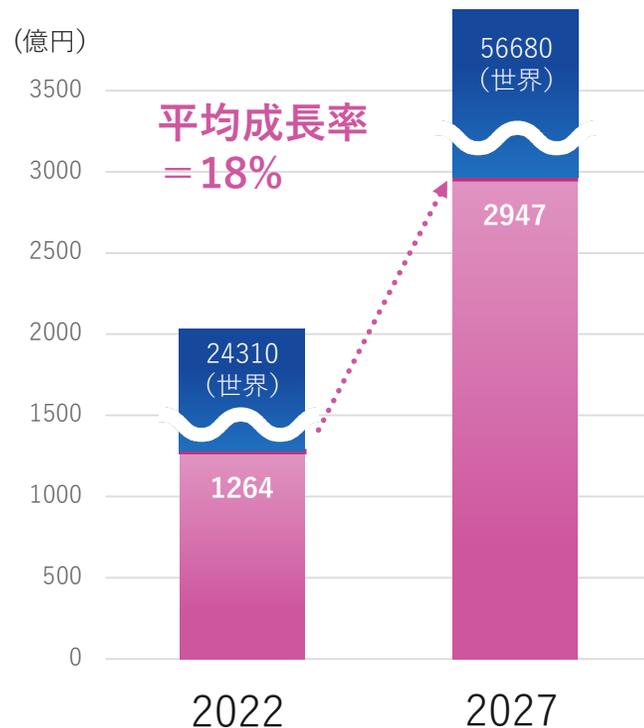


※1：LMSとは教育プログラムの配信、受講履歴、効果分析、レポートなどの運用管理を司るソフトウェアのアプリケーション

※2：株式会社矢野経済研究所「2024eラーニング/デジタル教育レポート」より

HCMクラウドサービスの市場規模

日本のLMSの潜在的市場規模



- ✓ 一方、2022年の世界市場の規模は2兆4,310億円で、2027年まで**年率18%で成長**して5兆6,680億円になると予想されています※1。
- ✓ **日本の世界のGDPに占めるシェアが5.2%※2**であることから2022年の潜在的な国内市場規模を1,264億円と推定するのは合理性があると考えます。
- ✓ DXの出遅れが指摘される日本企業が挽回のためにデジタル投資を拡大することが予想されるので、今後は世界市場並みの**18%で成長**して**2027年には2,947億円**になると当社では推定しています。

※1：MarketsandMarketsの調査の結果を130円/\$で計算。

※2：内閣府

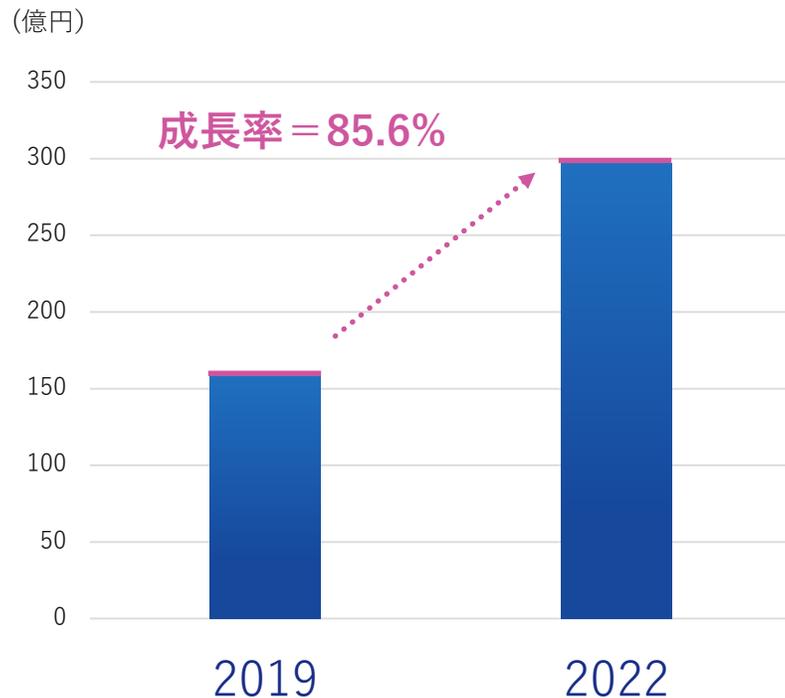
競合の状況※

	LIGHTWORKS	外資系	老舗系	新興系
管理者機能	◎	○	○ / △	△
多機能	○	◎	○ / △	△
使いやすさ	○	△	△	◎
サポートサービス	◎	△	○	△
柔軟性	○	×	○	◎
データ活用	△	○	△	△
	 大企業	 大企業	 事業縮小	 スモールビジネス特化

※：当社が実際に商談を行った企業の担当者から直接ヒアリングをした結果を当社がまとめたものです

オンライン英会話の市場規模

日本のオンライン英会話市場



- ✔ **オンライン英会話**の2022年度の市場規模は**297億円**で2019年度の160億円から**85.6%増加**しています※1。ただし、これはBtoCが中心の市場規模となります。
- ✔ 小学校での英語の必修化、都立高校入試でのスピーキングテストの導入、国公立私大入試における民間英語試験（4技能）の活用など**学校、学習塾（BtoBtoC）でのオンライン英会話の導入は今後増加**すると考えられています。

※1：矢野経済研究所

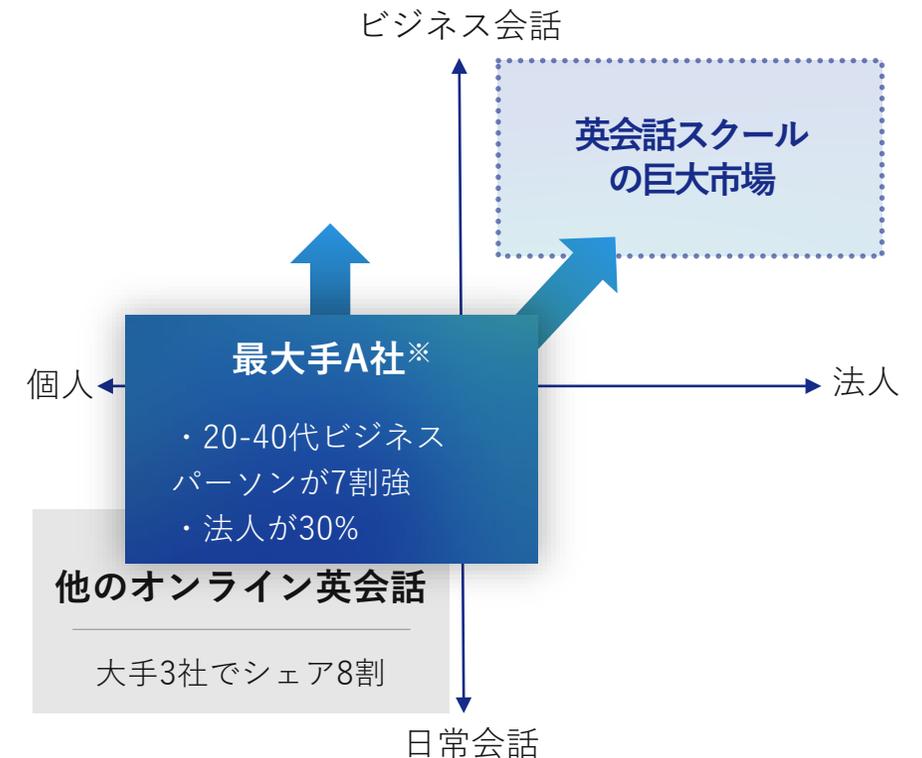
オンライン英会話の競争環境と当社のポジション

- 当社のポジショニングはオンライン英会話大手と異なるブルーオーシャン。

	競合他社	OLECO
競争軸（縦）	日常英語vs. ビジネス英語	学校英語
競争軸（横）	個人vs.法人	学童（学習塾の生徒）

※：2021年9月のA社投資家向け会社説明動画に基づいて作成

- 大手企業の市場認識と戦略※



03 競争力の源泉

HCMクラウドサービスの競争力の源泉

① システム ➡ トヨタ自動車や三菱商事などの大手企業で活用されているシステム

- 大規模組織での使用実績
- フラットな米系企業組織とは異なる日本企業の組織構造への対応実績
- 多言語対応

② サービス ➡ クラウド黎明期の2008年からのサービス経験の蓄積

- 高い継続利用率※（2024年1月期 ➡ 96.0%）
- 導入からBPOに至るワンストップサービス

③ コンテンツ ➡ eラーニングの開発がルーツ

- 1000タイトルを超えるオリジナルコンテンツと顧客からの受託制作
- 品質とコストを追求するための日中の二拠点制作体制

※：CAREERSHIPの継続利用率＝期中解約数 ÷（期中解約数 + 期末契約残数）

オンライン英会話サービスの競争力の源泉

① 学校・学習塾を經由して学童にオンライン英会話サービスを提供するという BtoBtoCのビジネスモデル

- 学習塾専用設計のオンライン英会話のサービスシステムです。
- 一般的なオンライン英会話（BtoC）は講師と生徒のタイミング合ったときに1対1でレッスンが行われますが、当社は学習塾毎によって日時が異なる英語のクラスの中に1対1の英会話のレッスンを組み込むことができるので複数の生徒に対する授業を行うことができます。

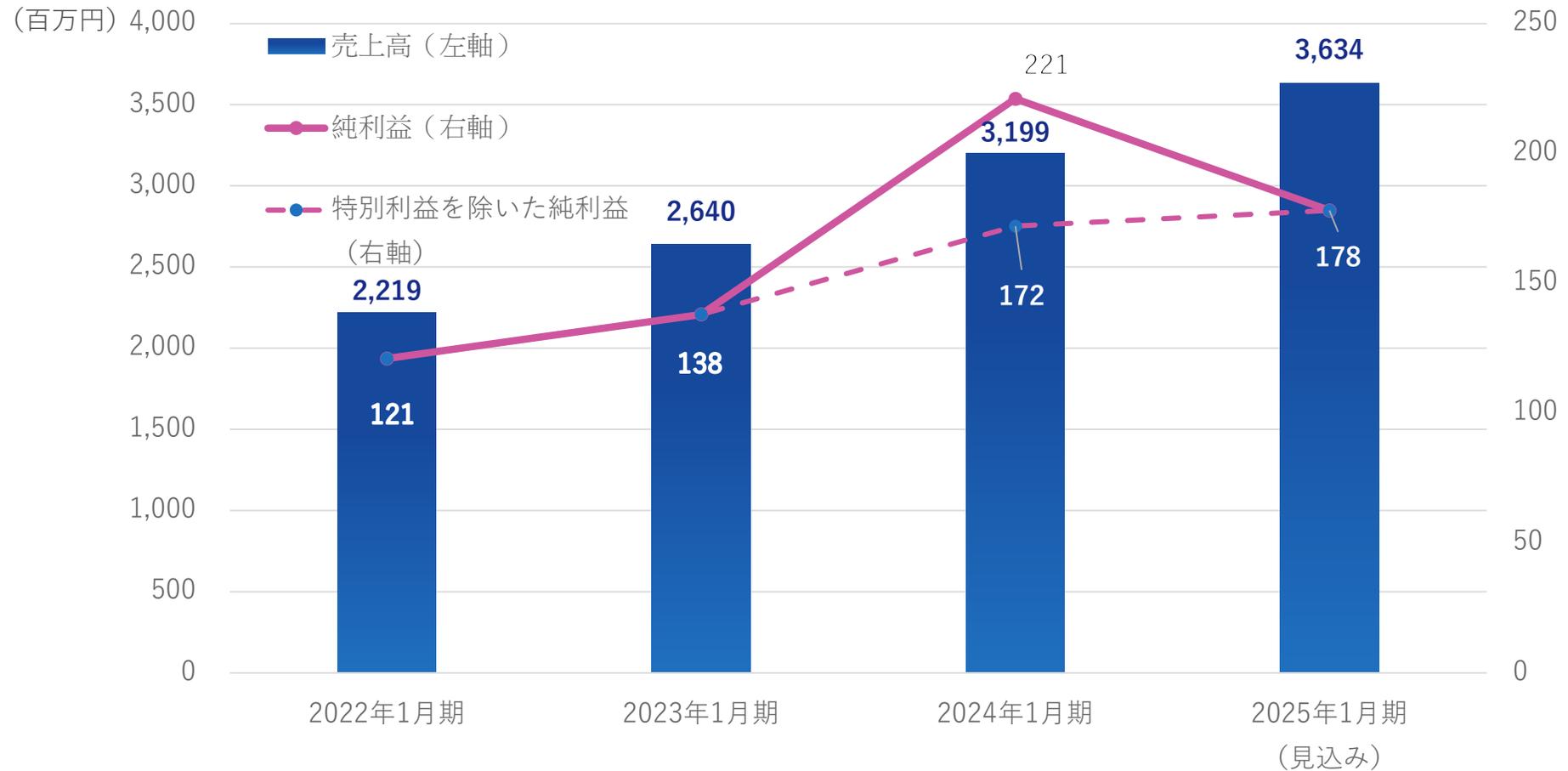
② 大企業で使用されているHCMプラットフォームを活用することで学習塾のオペレーションに対応できる強力なシステム基盤

- 受講生の管理に加え、国語・算数といった他科目と統合したクラス管理、保護者とのコミュニケーションといった学習塾のオペレーションに対応することができます。

③ 学研グループを始めたとした大手学習塾および大手教材メーカーとのアライアンス

04 事業計画

当期損益予想



HCMクラウドサービスの市場環境

市場環境のトレンドとその帰結

① メンバーシップ型雇用からジョブ型雇用への展開

メンバーシップ型

- 新卒一括採用、長期雇用、年功型賃金
- 「人に仕事を付ける」

VS

ジョブ型

- 職務（ジョブ）遂行が可能な能力のある人材を社内外から起用
- 「仕事に人を付ける」

➡ 企業にとっても個人にとっても人材開発投資の重要性が高まる

「ジョブ型雇用が一般化している欧米の企業では、むしろ職場としての魅力を高め、人材競争力を高めるために育成に力を入れている現状がある」 マーサジャパン盛田智也※

② 顧客DXの推進

➡ ITを活用した人材開発戦略が推進される

※：『日本の人事部』2021年6月29日

HCMクラウドサービスの成長戦略の基本方針

市場環境を背景とした企業の人材戦略の課題

① 従業員 : 学習のパーソナライズ化とキャリア自律支援

- 伝統的な企業特化型ゼネラリストの育成から専門スキルを持った人材の育成

② 人事管理者 : 教育の自動化とコア業務集中化

- 低付加価値のオペレーション業務から高付加価値の戦略業務へのシフト

③ 経営者 : タレントマネジメント推進

- 事業戦略にフィットした人材の採用・育成・評価・リテンション・インセンティブの仕組み作り

 顧客の戦略課題に対応したCAREERSHIP®の進化

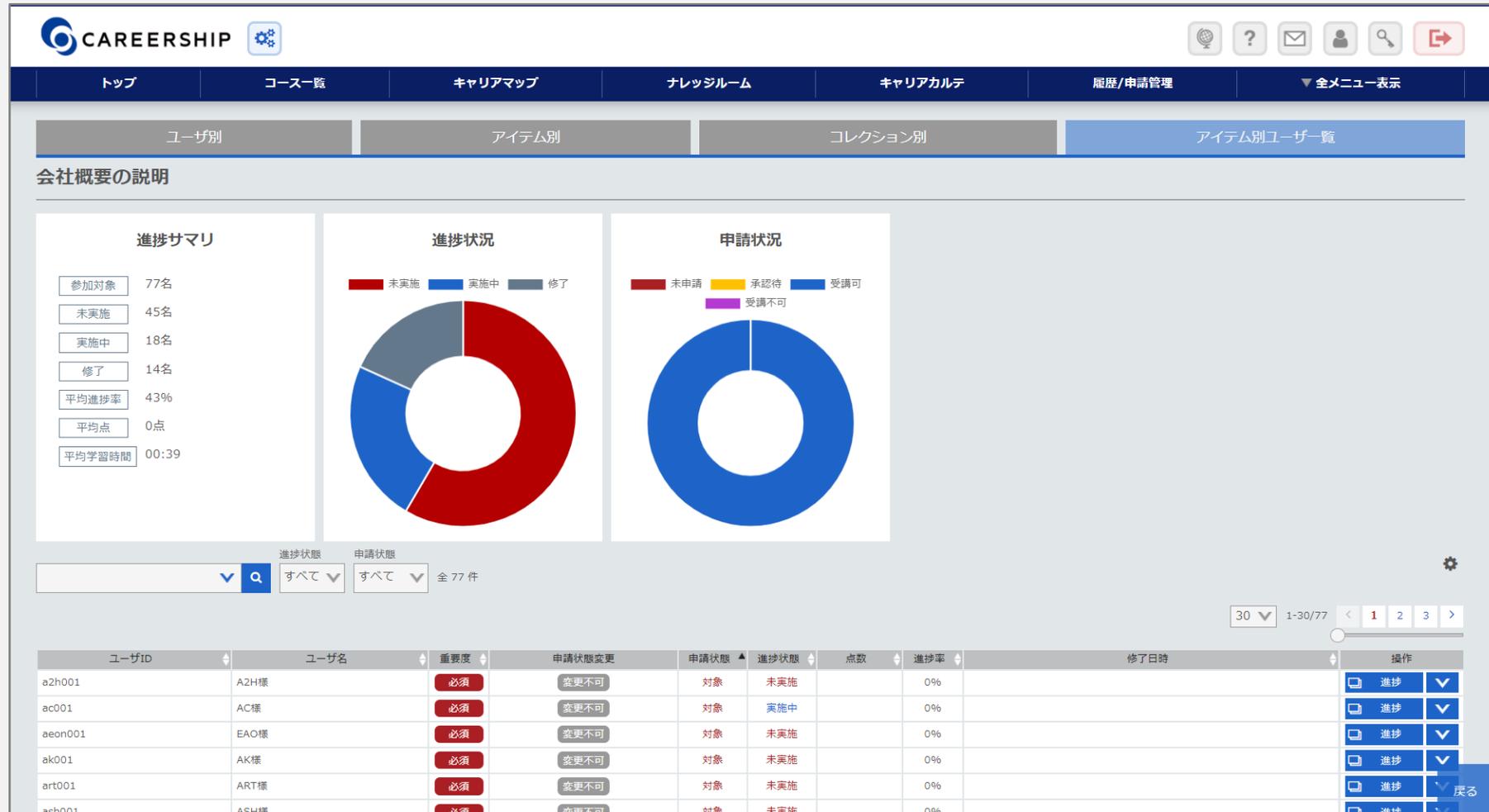
アクションプラン 1

戦略目標	戦略課題	アクション	進行状況
学習のパーソナライズ化とキャリア自律支援	マイクロラーニング	短時間で完結する教材のマイクロ化の推進するとともに、2クリック以内で受講開始できる「直リンク」機能、教材が自由に検索ができる各種「検索」機能を強化します。	完了
	キャリア管理	最適な学習を可能にするために スキルを可視化 したスキル管理機能を開発し、キャリアマップに基づいてキャリアパスを設定できる「ロードマップ」機能を開発します。	完了 ロードマップから個人ごとのキャリアに沿って学習できるプレイリストに変更
	情報のパーソナライズ	学習状況を可視化 し、必要な情報が個人毎に最適化されて表示されるように「ダッシュボード」機能を強化します。	完了
	学習のレコメンド	スキル、キャリア、学習履歴に応じて学習メニューが推薦される「レコメンド」機能を強化します。	強化継続
	学び合う/教え合う仕組み	ユーザーを可視化 し、ソーシャルラーニングを実現する仕組みとして双方向のやりとりや評価をする「アイテムシェア」機能、「アイテムレビュー」機能を開発します。	完了

アクションプラン 2

戦略目標	戦略課題	アクション	進行状況
教育の自動化 とコア業務集 中化	運用の自動化	自動的にスケジュールを押さえる「カレンダー同期」、通知を自動化する「メール自動配信」、ステータスに応じて催促などをする「自動配信」の機能を強化し、情報配信を自動化する「通知統合管理」機能を開発します。	進行中 ・カレンダー同期機能の開発は完了 ・通知統合管理機能は開発中
	ルーティン 業務の合理化	ルーティン業務の運用を代行するBPOメニューを拡充します。	強化継続
タレント マネジメント 推進	統合履歴管理	LMS内外の各種学習/教育の履歴を一元管理するデータベースである「ラーニングレコードストア」を開発します。	完了 キャリアカルテへのスキル履歴や まなびプレミアム受講履歴の 集約機能を開発
	ビッグデータ の活用	「ラーニングレコードストア」に蓄積されたビッグデータが戦略的活用できるようにします。	開発中 BIツールを利用したBIサービス開発中

CAREERSHIP®の機能強化：学習状況可視化



CAREERSHIP®の機能強化：ユーザー可視化

The screenshot displays the CAREERSHIP user management interface. At the top, there is a navigation bar with tabs for 'トップ', 'アクティビティ', 'スキル管理', 'キャリアカルテ', 'ルーム', and '全メニュー'. Below this, there are three filter tabs: 'ユーザー別' (selected), 'アイテム別', and 'コレクション別'. A search bar shows '全 24 件' results. The main content area is a grid of user profiles, each with a name, ID, a placeholder profile picture, and a '参照' (Reference) button. The profiles are arranged in three rows: the first two rows have 10 profiles each, and the third row has 4 profiles.

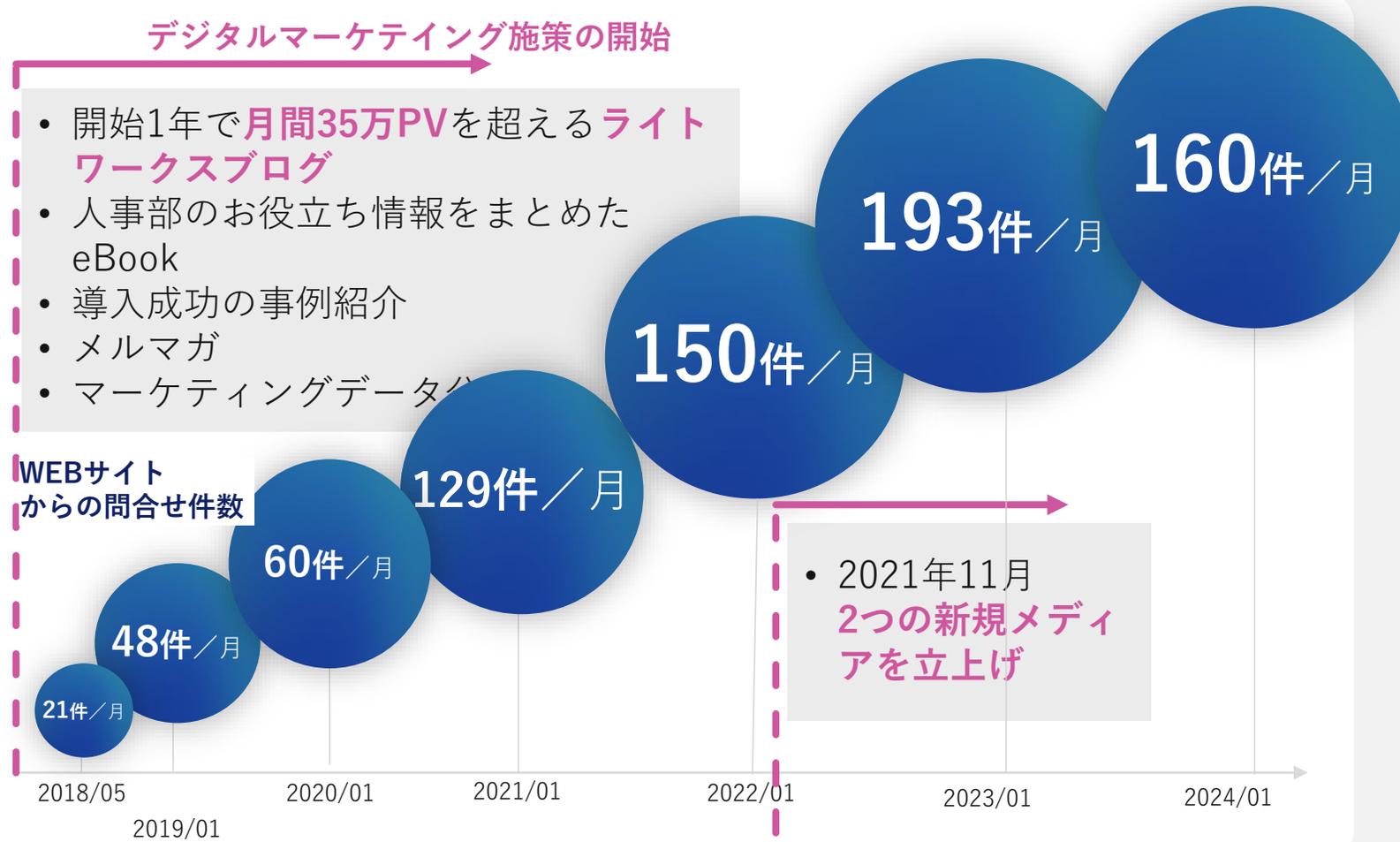
ユーザー名	ID	参照
丹後 深江 (取...)	s00001	参照
川崎 美里 (本...)	s00002	参照
重岡 春江 (部...)	s00003	参照
大塚 明	s00004	参照
武 孝子	s00005	参照
紀ノ川 愛子	s00006	参照
中山 由良 (部...)	s00007	参照
田端 和泉	s00008	参照
瀬野 香	s00009	参照
武蔵 満	s00010	参照
堀切 緑 (本部...)	s00011	参照
近江 安行 (部...)	s00012	参照
小川 和志	s00013	参照
井川 豊	s00014	参照
飯山 大和	s00015	参照
戸塚 三成 (部...)	s00016	参照
下神 美園	s00017	参照
河内 宗太郎	s00018	参照
浦和 太美	s00019	参照
丸岡 天美 (本...)	s00020	参照
出雲 有佐 (部...)	s00021	参照
伊賀 舞子 (課...)	s00022	参照
石狩 さくら	s00023	参照
佐藤 健 (課長)	s00024	参照

HCMクラウドサービスの成長戦略 1

✓ 既存市場の深耕

- ① 売上高1,000億円以上の企業は上場企業で約930社、非上場も合わせると1,500社※を超えます。売上高500億円～1,000億円の企業や大手企業のグループ企業まで含めると顧客数は膨大です。デジタルマーケティングによって潜在的顧客を開拓します。

※2019年リスクモニター調査



✓ 新規メディア

- ・ ライトワークスブログで取り上げていたトピックの中で、特に反響の大きかった『まなびJAPAN』は専門性を高めて有益な情報発信をすべく、単一テーマに特化した専用メディアを立ち上げました。



外国人雇用に関するトピック



【4/9無料ウェビナー開催】どうなる「育成就労制度」情報アップデートセミナー～2024年3月末時点の最新情報を解説～



外国人留学生を正社員・アルバイトで採用する方法 注意点も解説



【2024年3月最新】「育成就労」制度とは？技能実習・特定技能制度の改正について解説

- ・ 「外国人労働者の雇用について誰に聞けばいい？」を解決するメディア
- ・ 掲載内容
外国人雇用ガイドブック、法令や制度の情報発信、セミナー開催情報、教材カタログ など

HCMクラウドサービスの成長戦略 2

④ 既存市場の深耕

② 当社の顧客上位200社について、初年度の総売上高を100とすると、2年目は166、3年目は188と成長しています。これは**CAREERSHIP®の使い方に習熟するとともに利用度が上がる**ことを意味しています。具体的には、未利用部署（例えば子会社、代理店）への展開、利用機能の拡大、手持ちのアナログ学習教材のeラーニング化、BPOの利用などによるものです。引き続きCAREERSHIP®の機能の拡充、受託コンテンツの拡大、BPO利用の促進などの付帯サービスを強化することによって既存市場の深耕を図ります。

④ HCMプラットフォームを活用したビジネスの強化

- ・ オンライン英会話ビジネス以外のビジネスチャンスは多岐にわたっています。
- ・ **外国人社員の育成・管理**などデジタル化が有効なビジネス分野でビジネスを本格化します。

・ 受託コンテンツの拡大強化により、同項目の売上高は2023年1月期比で100%増

・ BPO利用の促進を図るコンサルティングサービスの強化により、同項目における売上高は2023年1月期比で23%増

HCMクラウドサービスの成長戦略 3

✓ 中堅中小企業の取り込み

- 当社プラットフォームの強みである管理機能をそこまで必要としない中堅中小企業に対して、**コンテンツのラインナップを強化することにより取り込み**を図ります。

✓ アジア展開

- 中国をはじめとして**アジアに拠点を設けている日本企業**は多数あります。アナログ（対面研修 etc.）では現地任せにならざるを得なかった従業員教育をHCMプラットフォームを導入することで**本社主導の人材開発プログラムとの一体化が可能**となります。中国子会社を通して日本企業のアジアの拠点を開拓します。

- 2023年1月期は大型案件が相次ぎ、中小中堅企業への取り込みに注力せず
- 本社主導の人材開発プログラムとの一体化が進み、同項目の売上高は2022年1月期比で4倍増

オンライン英会話サービスの成長戦略

✔ 学習塾の開拓

- **新学習要領**による英語教育の強化に対応し、**OEMでオンライン英会話を提供**する大手学習塾を開拓します。
- 都立高校入試へのスピーキングテスト導入に対応して**学習塾の市場規模9,690億円※の数パーセント**を受験対策としてオンライン英会話に向かうよう図ります。

・学習塾向けオンライン英会話の売上高は2023年1月期比で16%増

✔ クラウティ（個人向けオンライン英会話サービス）の強化

- 「家族で学べるオンライン英会話」として**独自セグメントを創出**します。
- 一般的な生徒単位ではなく、**家族単位でIDを発行**し、英語でゲームをするプログラム、ライトワークスが保有する1000タイトルを超えるコンテンツ（ビジネス教材、IT教材etc.）を開放し、英語学習だけでなく**“働くパパママを支援する”サービスに発展**させていきます。

・クラウティ（個人向けオンライン英会話サービス）の売上高は2023年1月期比で42%増

※（株）矢野経済研究所「2021学習塾・予備校市場の実態と展望」2021年8月27日

投資計画

✓ 下記の投資を計画します。

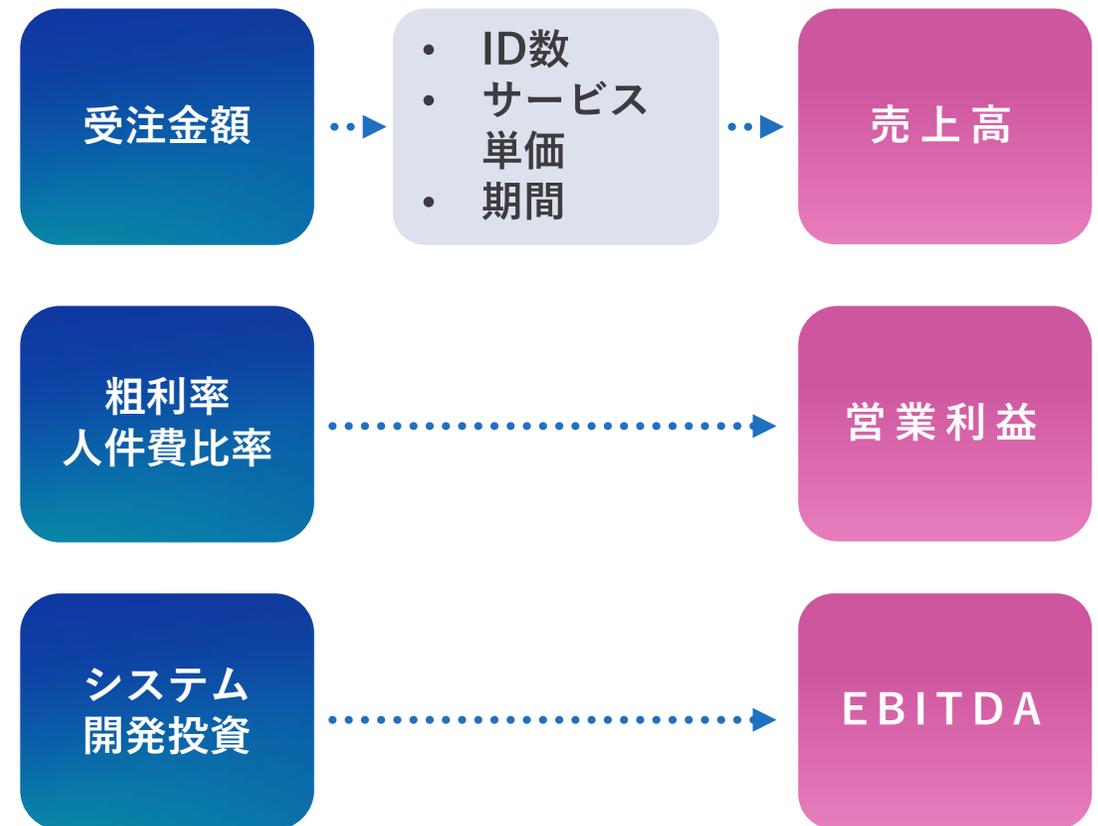
	2022年1月期		2023年1月期		2024年1月期		2025年1月期	
	中期 経営計画	実績	中期 経営計画	実績	中期 経営計画	実績	中期 経営計画	見込
採用人数	—	13名	26名	26名	30名	27名	30名	20~25 名
プラット フォーム 開発投資額 (百万円)	—	210	290	333	290	314	160	196
変動要 因	・新規機能開発		・新規機能開発 ・急激なID数の増加に 対応するための追加開 発 ・メジャーバージョン アップのための開発		・新規機能開発 ・急激なID数の増加に 対応するための追加開 発 ・メジャーバージョン アップのための開発		・新規機能開発 ・メジャーバージョン アップのための最終開 発	

経営指標

経営の重要指標として売上高、営業利益に加えてEBITDA※を注視しています。

- ✔ 当社は成長市場で事業展開をしているため、売上高を最も重視しています。
- ✔ 成長の原動力となるシステムは、規模の経済が働く一方で、開発期間を要するので、開発投資と売上の成長のバランスをどう取るかが経営上の課題になります。そのため、利益面では営業利益、キャッシュフロー面でEBITDAに注目しています。

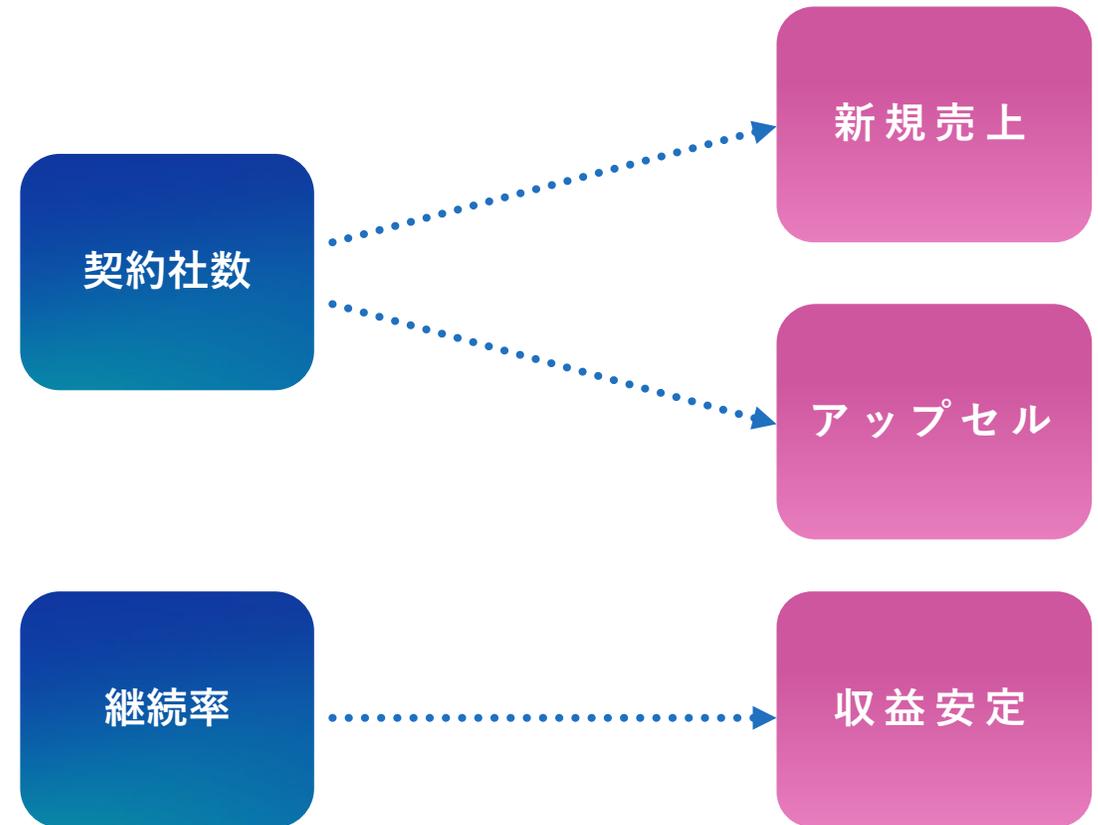
※：EBITDA = 営業利益 + ソフトウェア減価償却費 + 減価償却費 + 長期前払費用償却費



KPI

KPIとして契約社件数と継続率を注視しています。

- ✔ 契約社数の増加は新規受注による売上増加とともに、既存顧客に対するアップセルによる売上増に結びつきます。
- ✔ サービスの継続率を極大化することで収益の安定化を図ります。



経営指標の実績

経営の重要指標として売上高、営業利益に加えてEBITDA※¹を注視しています。
 経営指標の進捗状況については年1回（4月）進捗開示をします。 単位：百万円

	2023年 1月期実績	2024年 1月期予想	2024年 1月期実績	2024年 1月期予想実 績差異	2025年 1月期予想	前期比 (%)
売上高	2,640	3,081	3,199	+118	3,634	+13.6
営業利益	203	234	243	+9	271	+11.8
EBITDA	351	477	481	+4	601	+24.9
契約社数 ※ ² ※ ⁴	312	325	341	+16	350~360	+0.0
継続率※ ³ ※ ⁴	97.4%	97.4%	96.0%	▲1.4%	97.1%	+0.0

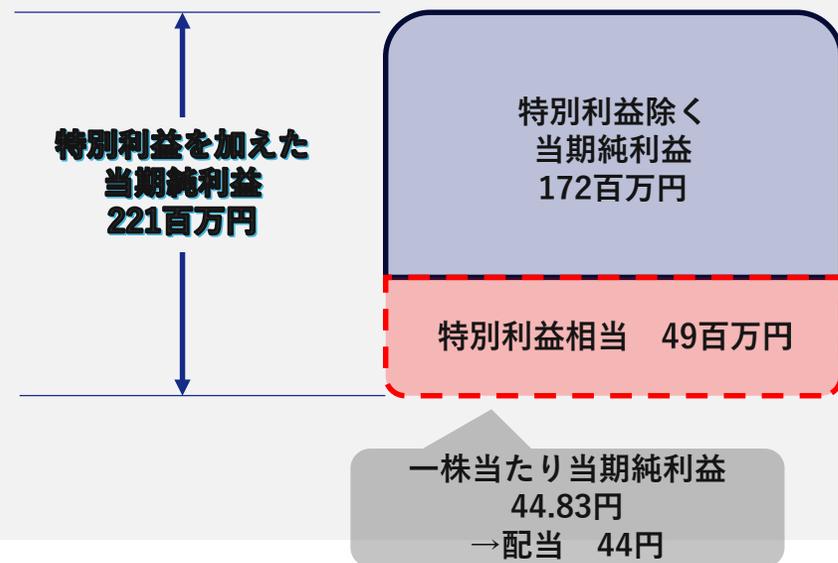
2024年1月期における予想と実績との主な差異要因

- ・急激なID数増加に対応すべくサーバーの増強や追加開発に伴う減価償却費の増加、開発人員の増強により原価が悪化したものの、順調な売上によって営業利益は上振れ
- ・契約社数は引き続き増加、一方継続率は、先方のシステム戦略見直しによる影響で多少の減少だが、大半の主要顧客は継続

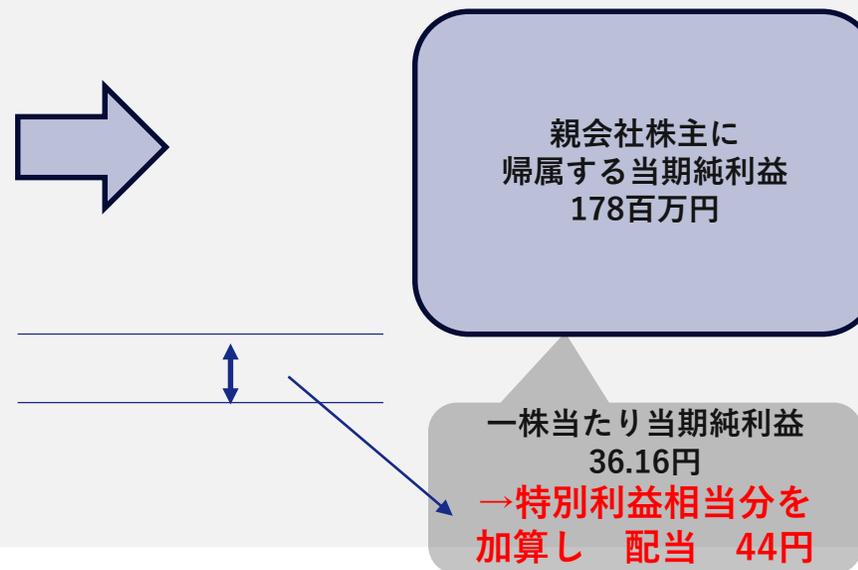
※¹：EBITDA = 営業利益 + ソフトウェア減価償却費 + 減価償却費 + 長期前払費用償却費
 ※²：契約社数とは利用企業数とは異なり、当社が直接契約を結んだ顧客企業数を指します。
 ※³：（スポット取引を除く）継続率 = 1-期中解約社数 ÷ （期中解約社数 + 期末契約者数）
 ※⁴：契約社数と継続率はHCMプラットフォーム提供サービスのCAREERSHIPについてとなります。

2026年1月期までのROE向上のための対策方針

2024年1月期



2025年1月期



今期、親会社株主に帰属する当期純利益は221百万円と過去最高収益を記録しておりますが、これには特別利益67百万円の計上が入っております。しかし、特別利益の計上が無かったと仮定した場合の親会社株主に帰属する当期純利益は約172百万円程度であると想定され、特別利益計上が無かったとしても過去最高収益であります。

また、現預金残高につきましても、上場直前の2022年1月末残高：450百万円から2024年1月末：974百万円となっており、システム大規模改修を実施している現状（2023年1月期投資額：333百万円、2024年1月期投資額：314百万円）においても順調な収益によって積み上がっております。2025年1月期は投資額が大幅に下がるため、現預金がさらに積みあがることが予想されています。

来期は特別利益の計上は予定しておらず、親会社株主に帰属する当期純利益は178百万円程度となる見込みですが、上記の通り現預金の積み上がりによってROEの悪化が予想されることから、その対策として、来期は配当性向を120%目標に定め、株主の皆さまには一株当たり配当額を今期と同額の44円とさせていただきます。

05 中期経営計画

サービス別市場規模

LMS※1の世界市場（単位：10億ドル）

調査機関	公表日	2021	2022	2023	2024	2025	CAGR
Allied Market Research	2022年2月	15.4	18.6	22.4	27.0	32.5	20.5%
MarketsandMarkets	2021年12月	15.8	18.8	22.4	26.7	31.8	19.1%
Fortune Business Insights	2021年8月	13.4	15.9	18.9	22.4	26.6	18.7%
日本の潜在的市場規模*2（億円）		1,026	1,226	1,465	1,750	2,091	19.5%

市場は20%/年程度で成長し、日本の潜在的市場規模は2025年で2,000億円超

※1 日本以外の世界においてはLMS(Learning Management System) は単に学習管理のためのシステムにとどまらず、より包括的に人材管理をおこなうシステム（≒HCMクラウド）の呼称として使われています。

※2 世界市場（3社平均値）の6%（日本のGDPシェア）を日本の潜在的市場規模と推定し、115円/\$で計算しています。

サービス別市場規模

オンライン外国語教育市場（単位：10億ドル）

調査機関	公表日	2021	2022	2023	2024	2025	CAGR
iResearch	2022年1月	8.2	9.7	11.5	13.7	16.3	18%
Verified Market Research	2021年6月	15.2	16.7	18.4	20.3	22.4	10%
Meticulous Market Research	2021年3月	7.6	9.0	10.7	12.7	15.1	18%

2025年までの市場の年平均成長率は10～18%程度

2025年1月期 中期経営計画との差異

単位：百万円

	2023年 1月期 実績	2024年 1月期 実績	2025年 1月期 中計数値	2025年 1月期 着地予想	中計数値 着地予想 差異
売上高	2,640	3,199	3,682	3,634	▲48
売上総利益	1,007	1,213	1,676	1,319	▲357
営業利益	203	243	627	271	▲355
経常利益	200	244	627	272	▲355
親会社株主に 帰属する 当期純利益	138	221	417	178	▲238
※売上 総利益率	38.2%	37.9%	45.5%	36.3%	▲9.2%

- 2025年1月期売上総利益における中計数値と今回開示の着地予想との主な差異要因
- メジャーバージョンアップ及びID増加に伴う追加開発影響（償却費増加）：+150M
 - 開発体制強化による費用増加：140M
 - インフラ費用増加：20M
 - 教育産業向け受託システム開発減少：40M

本ページの2025年1月期着地予想は、2024年3月15日に開示いたしました決算短信内の「2025年1月期の連結業績予想」に基づいて記載しております。

業務提携(その1)

《ERP HRモジュール》

POSITIVE®

COMPANY

Generalist®

SAP

ORACLE®
PEOPLESFT

workday®



システム連携

《人材開発プラットフォーム》

CAREERSHIP

SAP SuccessFactors ♥

cornerstone

✔ 株式会社電通総研との協業

2023年8月29日に開示したとおり株式会社電通総研（旧電通国際情報サービス）とCAREERSHIP®の拡販での協業を開始しました。

当社が提供するCAREERSHIP®など統合型LMSはERPのHRモジュールである統合型HCMと非常に相性がよく、電通総研が提供する統合HCMソリューション「POSITIVE」と補完的な関係です。

両社は主要なターゲット顧客が完全に被っており、導入数で勝るPOSITIVEの顧客にCAREERSHIPを紹介するなどの取り組みをおこなっています。電力会社大手の案件獲得など既に営業分野で成果が出ています。

業務提携(その2)

NEWS RELEASE

 LIGHTWORKS

 株式会社ライトワークス
 2024年4月9日

ライトワークスとマーサージャパン、人事プロフェッショナル向けの新たな学習プログラムの提供、および人事プロフェッショナル認定資格の発行に向けた業務提携を発表

クラウド型学習管理システム（LMS）市場で最大の売上シェア*を持つ株式会社ライトワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役：江口夏郎）と組織・人事、福利厚生・ウェルビーイング、年金・資産運用のグローバルリーダー、マーサー日本法人であるマーサージャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 草鹿泰士）は、人事プロフェッショナル向けの新たな学習プログラムの提供、および人事プロフェッショナル認定資格（サーティフィケート）の発行に向けた業務提携について合意したことをお知らせします。




今回の業務提携により、マーサーが持つ、組織・人事領域における幅広いコンサルティング・人事部門向け教育コンテンツ開発の知見と、ライトワークスが持つ、統合型 LMS「CAREERSHIP」・学習促進支援等の知見を掛け合わせて、人事プロフェッショナルを目指す社会人および学生に対し、新たな学習プログラムを提供します。そして、HR に関わるスキル・知識レベルを対外的なパスポートとして証明できるよう、人事プロフェッショナル認定資格（サーティフィケート）の普及を目指します。

本プログラムの立上げにあたり、主として学習コンテンツおよび認定資格の設計はマーサーが、学習プラットフォームの開発・提供や認定試験の運用はライトワークスが担い、協働プロジェクトとして始動します。

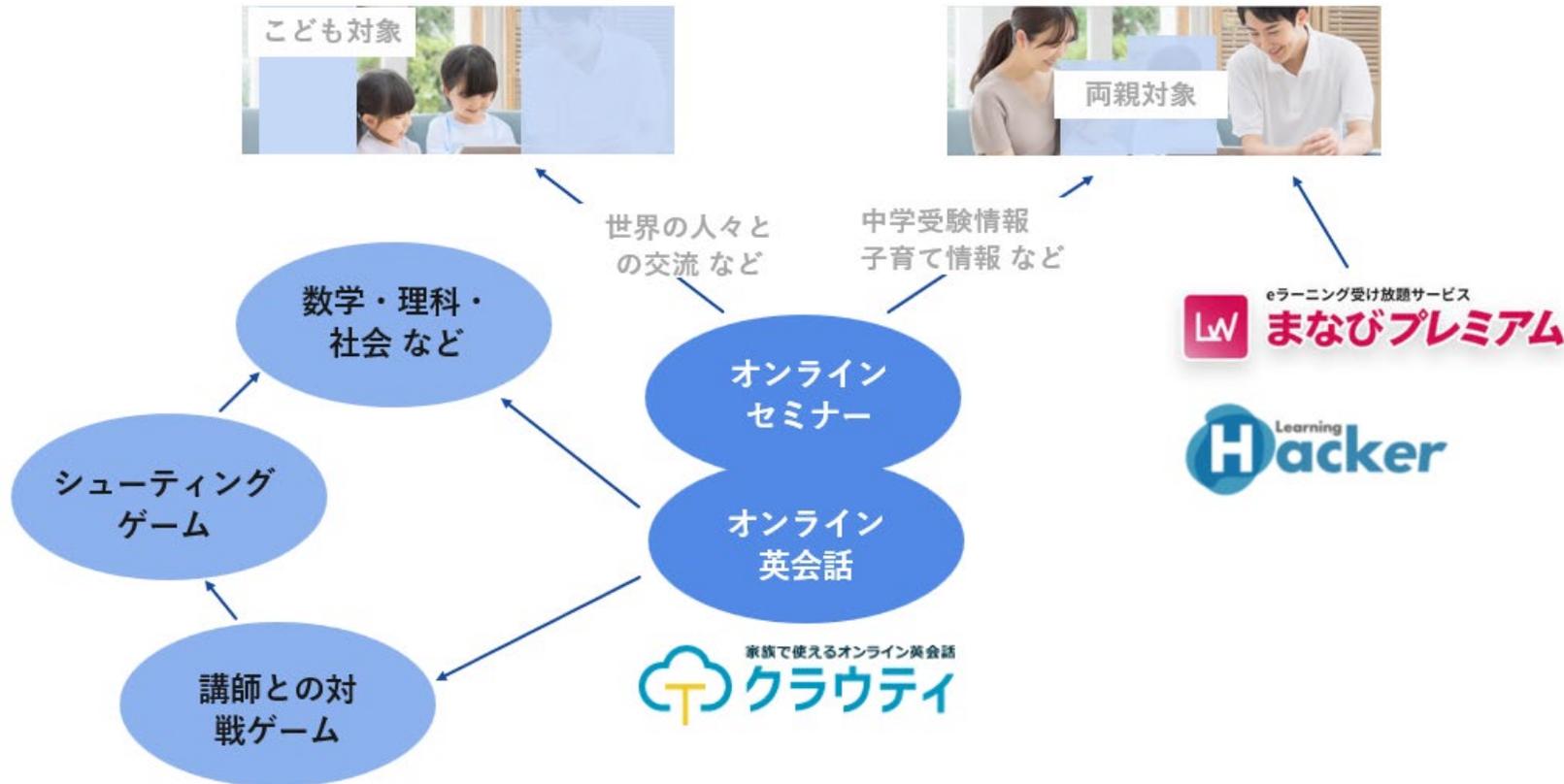
*出典：富士キメラ総研「2023 SX/GX によって実現するサステナビリティ/ESG 支援関連市場の現状と将来展望」学習管理システム（クラウド） 2022 年度金額シェア

☑ マーサージャパン株式会社との業務提携

2024年4月9日に開示したとおり、組織・人事、福利厚生・ウェルビーイング、年金・資産運用のグローバルリーダーであるマーサージャパン株式会社と、人事プロフェッショナル向けの新たな学習プログラムの提供、および人事プロフェッショナル認定資格（サーティフィケート）の発行に向けた業務提携について合意いたしました。学習コンテンツおよび認定資格の設計はマーサーが、学習プラットフォームの開発・提供や認定試験の運用はライトワークスが担い、協働プロジェクトとして行います。

今後もこのような提携をさらに強化していくことにより、当社は上流から運用まで一気通貫で請負える体制を整えていきます。

業務提携(その3)



✔ ブランド力のある企業との協業

クラウティは幼いお子様のいるご家庭が会員の中心であり、他社にないユニークなサービスをおこなっています。この年齢層のお子様にはリーチ企業も多数あります。

オンライン上のBtoCサービスの集客はブランド力が必要なため、そういった層に対するブランド力のある企業と提携することにより集客にドライブをかけることが可能です。

今後の成長戦略

当社の事業領域は今後も拡大が見込めます。オーガニックでの成長も可能ですが成長を加速するため当社では以下の取り組みをおこなっています。

✓ 新規事業領域の開拓

- ・ 子会社である㈱ライトエディケーションがすでに人材紹介業の免許を取得しております。人材を育成してから紹介するといった当社グループならではのビジネスモデルの確立を目指しています。

✓ 企業買収

- ・ オンライン英会話事業においては買収対象企業も豊富で、今後積極的に買収をおこなっていきます。
- ・ HCM事業においてはシステム関連および人材開発関連の企業に対する買収提案を頻繁に受けています。適正な価格で、かつ、買収後のシナジーが見込まれる企業を慎重に選別しています。

✓ 資本業務提携

- ・ 当社の事業内容はシンプルでかつ、多くの企業が注目する人材分野に強みがあります。我が国を代表する大手企業を顧客とする当社は大手企業を中心に業務提携、資本提携の機会が豊富にあります。こういったチャンスを活かすことで成長が加速すると考えています。

06 リスク情報

認識するリスクと対応策

項目	内容	可能性	時期	対応策
人材の確保	世界的な現象としてITエンジニアが不足しており、人材の確保が難しくなっています。	高	短～中期	<ul style="list-style-type: none"> 企業ブランドの向上を目指します。 外注化、オフショア開発を利用します。 社内教育を強化します。
技術革新への対応	インターネット業界においては、技術的な進歩や変化が激しく生じております。そうした技術やサービスへの対応の遅れは当社グループの競争力の低下に繋がります。	低	中長期	<ul style="list-style-type: none"> 常にITの動向を注視します。 革新的顧客とのコミュニケーションを密の行い、未来のニーズを先取りします。
市場での競争	-HCMクラウドサービスの分野は、企業による人材開発の強化、リモートワークの普及等により今後更に市場規模が拡大していくことが見込まれております。そのため、新規参入する競合企業が予想されます。	中	中期	<ul style="list-style-type: none"> システムの安定性、BPOサービスを継続的に強化することで、顧客の継続利用率（2023年で96%）の維持向上に努めます。

注：ここに記載されていないその他のリスクについては有価証券報告書の「事業等のリスク」を参照願います。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。

このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

「事業計画及び成長可能性に関する事項」は今後、決算発表の時期（4月）を目途として開示を行う予定です。